

**2 年 次 生**

ヴォーカル学科

| 学期 | 科目名         | 担当講師 |
|----|-------------|------|
| 春  | ヴォイストレーニングⅢ | 谷本真規 |

科目概要

- 1 基礎 自然発声の理解と定着
- 2 歌唱テクニック
- 3 表現感覚の成長

到達目標

歌う為の基本姿勢を保てるポディーバランスを作る  
 自然発声の喉感覚、声帯を柔らかく使えるようにする 口内共鳴感覚、グループ感覚、を育てる  
 声量拡大 音域拡張 声質変化 その他フレージングテクニック

授業計画

| 1クォーター | テーマ                   | 授業内容   |
|--------|-----------------------|--|
| 第1回    | 前年の復習と自己チェック<br>新年度説明 | 自己チェックインタビュー、基礎の復習、新年度授業説明                           |
| 第2回    | 発声理論と発声の基礎            | ポディーバランストレーニング 筋トレストレッチ<br>基本発声と発声理論 横隔膜呼吸と声帯制御 呼吸練習 |
| 第3回    | ファルセット<br>リズムとグループの復習 | 裏声の基本練習とバリエーション 裏声歌唱<br>グループの取り方感じ方、訓練               |
| 第4回    | 滑舌 母音共鳴               | 滑舌基礎運動 母音練習 口内共鳴変化 裏声歌唱                              |
| 第5回    | 滑舌 子音調整               | 滑舌基礎運動 英語共鳴の感覚<br>裏声朗読 裏声歌唱 地声ミックス朗読                 |
| 第6回    | 基本発声からのヴォイスマックス       | ポディーバランスを鍛える覚える<br>ヴォイスマックスの感覚練習                     |
| 第7回    | 1クォーターのまとめと<br>中間実技試験 | 1クォーターの復習 中間実技試験<br>ここまでの疑問や質問 回答と解消。                |

クォーター末試験評価方法

歌う事に対する姿勢 授業に取り組む姿勢(出席状態) 理解度 成長度  
 ポディーバランスの定着度 声帯の柔軟さ 発声の安定感

| 2クォーター | テーマ                    | 授業内容   |
|--------|------------------------|--|
| 第1回    | ハイトーン考察                | 喉の構造と高音を発声する時の状態を理解する<br>ミックスヴォイス、ミドルヴォイスの概念と感覚を覚える            |
| 第2回    | 音域拡張                   | ポディーバランスと呼吸筋の動きを作る 喉の均等な脱力で低音域拡張 ミドルヴォイスを使い高音域拡張 2~2.5オクターブの発声 |
| 第3回    | 滑舌練習とセリフ表現             | 滑舌基礎運動 ナレーション、朗読 セリフ表現   |
| 第4回    | ミュージカル考察とベルティング        | 滑舌基礎運動 ミュージカル的な発声感覚と歌唱   |
| 第5回    | ダイナミクス考察               | 声質と声帯の動きの関係をj知る 声のグラデーションコントロール                                |
| 第6回    | 夏休み明けの復習とここまでの<br>チェック | ファルセット 滑舌 ベルティング ミドルヴォイス<br>フォルセット歌唱 ミュージカル歌唱                  |
| 第7回    | 期末試験の練習                | これまでのまとめと期末試験のリハーサル  |
| 第8回    | 春学期のまとめと期末実技試験         | 春学期まとめ 期末実技試験 技術的な疑問の解消  |

学期末試験評価方法

歌う事に対する姿勢 授業に取り組む姿勢(出席状態) 理解度 成長度  
 ナチュラルな発声の定着度 声帯の柔軟さ、声質のコントロール 歌唱の総合的レベル

ヴォーカル学科

| 学期 | 科目名         | 担当講師 |
|----|-------------|------|
| 秋  | ヴォイストレーニングⅣ | 谷本真規 |

科目概要

- 1 基礎 自然発声の理解と定着
- 2 歌唱テクニック
- 3 表現感覚の成長

到達目標

歌う為の基本姿勢を保てるポディーバランス定着  
 自然発声の喉感覚、喉の柔軟性 の定着 口内共鳴感覚とグループ感覚を安定させる  
 声量拡大 音域拡張 声質調整 などのテクニカルなコントロール感覚を身につける

授業計画

| 3クォーター | テーマ                   | 授業内容  |
|--------|-----------------------|---|
| 第1回    | 春学期の復習 基本の復習          | 体感覚、喉感覚の基本を復習 個人別の課題をチェックする<br>グレイトシンガーの歌い方から体の使い方を学ぶ |
| 第2回    | マイク歌唱                 | 生声歌唱とマイク歌唱のギャップをモニタリング感覚で埋める                          |
| 第3回    | 母音子音口内共鳴感覚            | 英語の共鳴から舌や口内のポジションを覚え声帯の位置を誘導する<br>洋楽曲のマイク歌唱           |
| 第4回    | ソウルフレージング             | 現代ポップス歌唱の基礎となっている、R&B,Jazz.ゴスペルなどのフ<br>レージング感覚を学ぶ     |
| 第5回    | 感情表現と声と身体の考察          | 歌唱における感情表現に必要な動きとNGな動きを学び、自<br>然な内面表現を声に乗せる           |
| 第6回    | 息と表情筋の拡張<br>感情的抑揚の増幅  | 息と表情筋の可動範囲を増やし、内面的動きを外に出せるよ<br>うにする                   |
| 第7回    | 3クォーターのまとめと<br>中間実技試験 | ここまでの復習とマイク歌唱による中間実技試験                                |

クォーター末試験評価方法

歌う事に対する姿勢 授業に取り組む姿勢(出席状態) 理解度 成長度  
 ナチュラルな発声の定着度 歌唱中の発声の安定感、モニタリングの集中力、歌唱の総合的レベル

| 4クォーター | テーマ                     | 授業内容  |
|--------|-------------------------|---|
| 第1回    | 喉頭のハーモニー感覚              | 喉頭のコード共振からハーモニーの体感覚を拾う  |
| 第2回    | 声帯のハモリ感覚                | 声帯のメロディー共振から即興でハモリを歌う   |
| 第3回    | 冬休み明けの復習                | ファルセット 滑舌 ベルティング ミドルヴォイス<br>フォルセット歌唱 グラデーション感覚 の復習              |
| 第4回    | ジャンル別歌唱傾向 ロック系          | ジャンル別の歌唱(声の使い方)の傾向から、自分に必要な新しい歌唱感覚を<br>模索する 既存のロックシンガーのテクニックを学ぶ |
| 第5回    | ジャンル別歌唱傾向 Jass R&B系     | ジャンル別の歌唱(声の使い方)の傾向から、自分に必要な新しい歌唱感覚を<br>模索する 既存のR&Bシンガーのテクニックを学ぶ |
| 第6回    | 声や歌唱全般の疑問点の解消           | 発声や歌唱に関する疑問点や上手く歌えないところを出し合<br>い、答えをシェアしながら練習する                 |
| 第7回    | 2学年のまとめと学年末試験のリ<br>ハーサル | 秋学期の復習と授業内実技試験のリハーサル  |
| 第8回    | 秋学期のまとめと学年末実技試験         | 1年間のまとめ 期末実技試験と個別のアドバイス   |

学期末試験評価方法

歌う事に対する姿勢 授業に取り組む姿勢(出席状態) 理解度 成長度  
 ナチュラルな発声の定着度 歌唱中の発声の安定感、声質のコントロールなどのテクニック、歌唱の総合的レ  
 ベル

ヴォーカル学科

| 学期 | 科目名          | 担当講師  |
|----|--------------|-------|
| 春  | ダンス&パフォーマンスⅢ | 青井智佳子 |

科目概要

自己の表現としての手段としてのダンスの考え方を学び、音楽に繋げて行きます。課題曲の時代背景や、その時代に使われていた、流行ったステップなど、歴史的なことも学んで行きます。

到達目標

自分の引き出しに保存されているネタから自分で様々に引き出してきて自由に踊れる、音楽に乗れる様にして行くことを目標にします。感情を動きで表現(表情なども含め)出来る事も目標の1つになって行きます。

授業計画

| 1クォーター | テーマ            | 授業内容  |
|--------|----------------|---|
| 第1回    | ガイダンス          | 授業を受けるうえでの決まり事を含め、説明を行います。もちろん初回から体を動かして行きます。 |
| 第2回    | ダンスのステップ       | 課題曲をよく聴きこみます。そこから感じる自分のイメージをしっかりと決めてもらいます。    |
| 第3回    | ステップで乗る        | 自分のイメージを発表してもらい、フィードバックされたものを研究してもらいます。       |
| 第4回    | ダンス            | 振付を進めます。                                      |
| 第5回    | ダンスの確認         | 今までついた振付をおさらいしながら、更に振付が進みます。                  |
| 第6回    | ダンスを人に見せるということ | お客様に自分がどう見たいか、どう見えているのか、の両方を吟味していきます。         |
| 第7回    | テスト            | ダンスの実技テストです。                                  |

クォーター末試験評価方法

自己表現の追究の姿勢を評価します。自分の持っているものを自覚できているか、それを表に出すことが出来るかを評価します。欠席、遅刻、見学などによる減点もありますので気を付けてください。

| 2クォーター | テーマ         | 授業内容  |
|--------|-------------|---|
| 第1回    | ダンス         | 今までのおさらいをし、その後、振付をし、踊って行きます。                  |
| 第2回    | ダンスの正確さ     | ポージングを中心に、身体をどのように使うか、姿勢などのポイントを話して行きます。      |
| 第3回    | ポージングで踊る    | ポージングが決まると、それをただ繋げただけでもはやダンスになるということを話して行きます。 |
| 第4回    | アイソレーションで踊る | アイソレーションを使って音楽に乗ることを行っていきます。                  |
| 第5回    | ステップの応用     | 音楽のジャンルに合わせて、その背景に合う、使いやすいものを選んでいきます。         |
| 第6回    | ダンスの振り付け    | 毎回少しずつ進む振付の押さえてほしいポイントの説明をして行きます。             |
| 第7回    | ダンスの振り固め    | テスト範囲のダンスをたくさん練習します。                          |
| 第8回    | テスト         | ダンスの実技テストです。一人ずつ行います。                         |

学期末試験評価方法

欠席、遅刻、見学による減点、皆勤の場合は点数を加えます。ダンスの正確さ、アイソレーションやリズム取りの正確さ、またダンスのフィーリングの良さ、自己表現の完成度などが、評価されます。

ヴォーカル学科

| 学期 | 科目名          | 担当講師  |
|----|--------------|-------|
| 秋  | ダンス&パフォーマンスⅣ | 青井智佳子 |

科目概要

ステージでこうありたいと思う自分のイメージに近づけていく事を行っていきます。自己表現の手段としてもダンスを使っていく事を学びます。

到達目標

基本的にはグルーブ感を出せることを目標にしますが、リズムにとらわれず、自分の内面を自分が伝えたい通りに表に出せるようになることもまた大きな目標にします。

授業計画

| 3クォーター | テーマ          | 授業内容   |
|--------|--------------|--|
| 第1回    | 自己表現について     | 喜怒哀楽を考えていきます。自分なりの表現を考えてもらいます。                       |
| 第2回    | 自己表現してみる     | 自分のイメージを持ち、それを表に出す事をしていきます。                          |
| 第3回    | ダンスについて      | リズムを重視する部分とその中に自己表現を入れたものを自分で見比べてもらいます。              |
| 第4回    | ダンス          | グルーブ感をダンスにあたり、自分がどうありたいのかを見つめ、それを発表してもらいます。          |
| 第5回    | ダンスの振り付け     | 今までやってきたステップの応用に入ります。                                |
| 第6回    | ダンスの振り付け(確認) | ステップを使ったダンスの振り付けを進めます。グループに分かれてお互いの良いところを見つけ情報共有します。 |
| 第7回    | テスト          | ダンスの実技です。  |

クォーター末試験評価方法

振りの正確さ、踊り方、リズム、リラックスできているかどうかをよく見ます。欠席、遅刻、見学、授業態度による減点がありますので注意してください。

| 4クォーター | テーマ         | 授業内容  |
|--------|-------------|---|
| 第1回    | 自己表現        | 自己表現の手段としてのダンスを歌と繋げて行きます。                         |
| 第2回    | 自己表現(喜怒哀楽)  | 喜怒哀楽を身体で表すとどうなるか、ディスカッションを含めながら更に講義していきます。        |
| 第3回    | 表現の多様性      | 一定の縛りの中で、表現してもらいます。リズムを崩さず自分の表現を取り入れる練習に入ります。     |
| 第4回    | ダンス         | ダンスの振り付けに入ります。自分でステップを考えて音楽に乗る練習もしていきます。          |
| 第5回    | 振付の確認       | 前回のおさらいをしながら更に振付を進めます。                            |
| 第6回    | アイソレーションの応用 | 前回までの振り付けを踊り、それがもっとダンスに見えてくるにはどうしたらよいのかを説明して行きます。 |
| 第7回    | ダンスの固め      | テスト範囲を何度も練習し、見せ方を研究してもらいます。                       |
| 第8回    | テスト         | 一人ずつの実技です。  |

学期末試験評価方法

今後の自分のパフォーマンスへの生かし方をきちんと考えることが出来たか、授業で口頭で話しているポイントを注意深く聞いているかどうかをよく見ます。振りの正確さと同じくらい、フィーリングの良さも評価します。

ヴォーカル学科

| 学期 | 科目名     | 担当講師 |
|----|---------|------|
| 春  | ステージングⅢ | 澄 淳子 |

科目概要

一年間の授業で身体の使い方、歌の解釈などを学んできたはずですが、今度は自分の特色を伸ばしていく作業をします グループ内で他者の意見を聞きながら、自分のパフォーマンスを磨いていきます

到達目標

自分らしさを伸ばし、自分の中でもより大きく冒険していき思っている以上の自分にだあいます  
グループの中でも他者のカラーをアドバイスすることで、自己演出力をつけます

授業計画

| 1クォーター | テーマ     | 授業内容            |
|--------|---------|-----------------|
| 第1回    | グループ会議  | それぞれの魅力について話し合い |
| 第2回    | パフォーマンス | 魅力が出るように互いに演出する |
| 第3回    | パフォーマンス | 魅力が出るように互いに演出する |
| 第4回    | ビデオ撮り   | ここでも互いに演出し合います  |
| 第5回    | ビデオ撮り   | ここでも互いに演出し合います  |
| 第6回    | ビデオチェック | 自分のパフォーマンス      |
| 第7回    | ビデオチェック | 自分のパフォーマンス      |

クォーター末試験評価方法

自分の魅力が出るビデオ案のレポートを提出

| 2クォーター | テーマ        | 授業内容  |
|--------|------------|---|
| 第1回    | 第1回目の授業テーマ | 第1回目の授業内容を50字程度で記入してください。このセルは自動折り返しの設定になっています。 |
| 第2回    | パフォーマンス    | 磨きをかける  |
| 第3回    | パフォーマンス    | 磨きをかける  |
| 第4回    | ビデオ撮り      | 照明も使い、パフォーマンスの自覚を高める                            |
| 第5回    | ビデオ撮り      | 照明も使い、パフォーマンスの自覚を高める                            |
| 第6回    | ビデオ撮り      | 照明も使い、パフォーマンスの自覚を高める                            |
| 第7回    | ビデオチェック    | 自分の魅力は効果的に出ているかをチェックする                          |
| 第8回    | ビデオチェック    | 自分の魅力は効果的に出ているかをチェックする                          |

学期末試験評価方法

ビデオ撮りのパフォーマンスを評価  
自分とタイプが逆のシンガーとその魅力をレポート提出

ヴォーカル学科

| 学期 | 科目名     | 担当講師 |
|----|---------|------|
| 秋  | ステージングⅣ | 澄 淳子 |

科目概要

自分の枠を広げるため、いつもの自分と逆のシンガーのパフォーマンスをします  
自分らしさの殻に隠れて固まってきている個性や一歩出られない自分を逆に振ることで、超えていきます

到達目標

自分と逆のアーティストと言いながら 自分の可能性を広げていきます

授業計画

| 3クォーター | テーマ     | 授業内容                        |
|--------|---------|-----------------------------|
| 第1回    | グループ会議  | グループ内で本当に逆のアーティストかグループで話し合い |
| 第2回    | パフォーマンス | 少しずつ自分を広げていく                |
| 第3回    | パフォーマンス | 少しずつ自分を広げていく                |
| 第4回    | パフォーマンス | 少しずつ自分を広げていく                |
| 第5回    | ビデオ撮り   | パフォーマンスの精度を上げていく            |
| 第6回    | ビデオ撮り   | パフォーマンスの精度を上げていく            |
| 第7回    | ビデオ撮り   | パフォーマンスの精度を上げていく            |

クォーター末試験評価方法

そのパフォーマンスを評価する  
また逆のアーティストにチャレンジしてどの点を自分のものにしていきたいか のレポートを提出する

| 4クォーター | テーマ     | 授業内容                |
|--------|---------|---------------------|
| 第1回    | ビデオチェック | 自己分析、また互いにアドバイスし合う  |
| 第2回    | ビデオチェック | 自己分析、また互いにアドバイスし合う  |
| 第3回    | パフォーマンス | 改良点確認               |
| 第4回    | パフォーマンス | 改良点確認               |
| 第5回    | ビデオ撮り   | 照明も使い 自分の表現能力を上げていく |
| 第6回    | ビデオ撮り   | 照明も使い 自分の表現能力を上げていく |
| 第7回    | ビデオチェック | いつもの歌唱にどう応用するか      |
| 第8回    | ビデオチェック | いつもの歌唱にどう応用するか      |

学期末試験評価方法

そのパフォーマンスを評価する  
また自分理想のステージを1年の初め以来の同じ質問です

## ボークル学科

| 学期 | 科目名          | 担当講師 |
|----|--------------|------|
| 春  | ヴォーカルアンサンブルⅢ | 瀬川 忍 |

## 科目概要

アンサンブル2年目ということで、より多くの楽曲を知り、歌唱することで更なる読譜力、初見力を身につけていきます。またアカペラというスタイルを取り入れることで、自分達だけで音楽が成り立っているという喜びとともに、声という楽器を使い和声学にも軽く触れ、楽しみながら習得できるカリキュラムを目指します。

## 到達目標

新しい譜面を手にしたときに、学生だけで譜読みし、パートを分け、ただ音を鳴らすだけでなく、皆で協力してアンサンブルを感じることができる歌を歌えるようになることを到達目標とします。

## 授業計画

| 1クォーター | テーマ                 | 授業内容  |
|--------|---------------------|---|
| 第1回    | アンサンブルとは？ オリエンテーション | 音楽において、アンサンブルすることの重要性、効果などを、様々な参考音源、譜面を使ってディスカッションします |
| 第2回    | 基礎力習得1 「心の瞳」        | パート決め、音取り、譜面の読み方を説明します                                |
| 第3回    | 基礎力習得2              | 自分と音ともう一つの音を耳で掴む練習します                                 |
| 第4回    | 基礎力習得3              | 音量、抑揚等のバランスを感じながら練習します                                |
| 第5回    | コーラスワーク1            | パート毎のもつ音楽的な役割を理解しつつ、歌詞の世界観に身をあずけて、楽しみながら歌います          |
| 第6回    | コーラスワーク2            | ピアノ伴奏をつけていた雰囲気崩さずに、無伴奏(アカペラ)で歌唱します                    |
| 第7回    | 発表会                 | 各パート一人づつでグループを組んで歌唱します                                |

## クォーター末試験評価方法

自分のパートを自信をもって歌えているか。他のパートを聞こうとして歌っているか。得意不得意ではなく、授業からなにかを得ようと意欲的に取り組んでいるかを評価いたします。出席率、授業態度も評価の対象です。

| 2クォーター | テーマ                | 授業内容   |
|--------|--------------------|--|
| 第1回    | 基礎力習得1 「世界に一つだけの花」 | パート決め、音取り、譜面の読み方を説明します                       |
| 第2回    | 基礎力習得2             | 自分と音ともう一つの音を耳で掴む練習します                        |
| 第3回    | 基礎力習得3             | 音量、抑揚等のバランスを感じながら練習します                       |
| 第4回    | 基礎力習得4             | ブロック毎にハーモニーが完成していく様を感じる練習をします                |
| 第5回    | コーラスワーク1           | パート毎のもつ音楽的な役割を理解しつつ、歌詞の世界観に身をあずけて、楽しみながら歌います |
| 第6回    | コーラスワーク2           | ピアノ伴奏をつけていた雰囲気崩さずに、無伴奏(アカペラ)で歌唱します           |
| 第7回    | コーラスワーク3           | ハーモニーの精度を上げていく反復練習をします                       |
| 第8回    | 歌唱試験               | 各パート一人づつでグループを組んで歌唱します                       |

## 学期末試験評価方法

自分のパートがその音楽(和声)の中でどのような役割を果たしているのか意識して歌唱しているか。グループ毎の歌唱試験なので、協調性含めグループ単位の評価も行います。出席率、授業態度も評価の対象です。



## ボークル学科

| 学期 | 科目名          | 担当講師 |
|----|--------------|------|
| 秋  | ヴォーカルアンサンブルⅣ | 瀬川 忍 |

## 科目概要

後期は洋楽にもチャレンジします。難易度も少し高めて様々なジャンルのコーラスを体験し、音楽の経験の幅が広がるような授業をいたします。

## 到達目標

1年間アンサンブルで学んだことが学生たちの自信になり、自分たちの音楽活動で積極的にコーラスを付け音楽に彩りを加えていくような学生に成長することを到達目標とします。

## 授業計画

| 3クォーター | テーマ          | 授業内容  |
|--------|--------------|---|
| 第1回    | 基礎力習得1       | ソルフェージュ、キーの探し方、和音の理解                                      |
| 第2回    | jazzコーラスワーク1 | winter wonder land を題材にjazzコーラスを楽しむ パート決め、英語の発音、音取りなどのします |
| 第3回    | jazzコーラスワーク2 | リズムに遅れずに自分のパートを歌えるようにします                                  |
| 第4回    | jazzコーラスワーク3 | ベースとメロディーともう1声で歌えるようにします                                  |
| 第5回    | jazzコーラスワーク4 | ブロック毎にハーモニーを感じながら歌えるようにします                                |
| 第6回    | jazzコーラスワーク5 | バランスの重要性を実演しながら感じてもらいます                                   |
| 第7回    | 発表会          | 各パート一人づつでグループを組んで歌唱します                                    |

## クォーター末試験評価方法

他のパートにつられることなく、自分の音を正しく歌えているか。バランスの重要性を感じて調和しようとしているか。を評価いたします。出席率、授業態度も評価の対象です。

| 4クォーター | テーマ              | 授業内容  |
|--------|------------------|---|
| 第1回    | 基礎力習得1「カントリーロード」 | パート決め、音取り、譜面の読み方を説明します                                  |
| 第2回    | 基礎力習得2           | 慣れ親しんでる曲なので、グループ毎に表現したい曲想を考え、表現する授業をします                 |
| 第3回    | 基礎力習得3           | ソロではなくユニゾンでメロディーを歌うという点で、複数の人間が同じ世界観を共有して形にする大切さを体験します。 |
| 第4回    | 基礎力習得4           | ブロック毎にハーモニーが完成していく様を感じる練習をします                           |
| 第5回    | コーラスワーク1         | パート毎のもつ音楽的な役割を理解しつつ、歌詞の世界観に身をあずけて、楽しみながら歌います            |
| 第6回    | コーラスワーク2         | ハーモニーの精度を上げていく反復練習をします                                  |
| 第7回    | コーラスワーク3         | グループ毎に発表して、お互いの良いところ、改善点をディスカッションして、よりよい表現をみつけていきます     |
| 第8回    | 歌唱試験             | 各パート一人づつでグループを組んで歌唱します                                  |

## 学期末試験評価方法

グループ自体に連帯感があるか。そこに集まった仲間できかに良いものを作ろうと努力してきたか。試験だけでなく、通常授業内でのグループの中での練習等も評価の対象とします。1年間かけて成長した部分も含め総合的に評価いたします。

ヴォーカル学科

| 学期 | 科目名         | 担当講師 |
|----|-------------|------|
| 春  | レコーディング演習 I | 高松 俊 |

科目概要

デモテープのクオリティ、音質だけでなく内容的にも本人の魅力がしっかり出ているかどうかは大変重要です。定期的にしかりとした形で録音していくことにより、個々のレベルにおいて自分の歌の長所、短所を確認し、練習で課題をもって対処していきます。

到達目標

春学期は、レコーディング時のヴォーカリストとしての基本的事項を学びながら、ラフにサクサク録っていきます。録った音源は毎回生徒が持ち帰り自分の長所、欠点を認識した上で次回のレコーディングに臨みます。

授業計画

| 1クォーター | テーマ              | 授業内容                 |
|--------|------------------|----------------------|
| 第1回    | オリエンテーション        | この「レコーディング実習」授業全般の説明 |
| 第2回    | ラフ・レコーディング1      | (歌入れ時の注意事項、心がけ)      |
| 第3回    | ラフ・レコーディング2      | (歌への集中力、表現力)         |
| 第4回    | ラフ・レコーディング3      | (自己分析と練習での対処)        |
| 第5回    | ラフ・レコーディング4      | (自己分析と練習での対処)        |
| 第6回    | ラフ・レコーディング5      | (自己分析と練習での対処)        |
| 第7回    | 1Q末ライブ・レコーディング試験 |                      |

クォーター末試験評価方法

出席状況、各自のテーマへの取り組み姿勢、最終作品の完成度等で総合評価

| 2クォーター | テーマ        | 授業内容                  |
|--------|------------|-----------------------|
| 第1回    | レコーディング1   | (レコーディングの進み方 1)       |
| 第2回    | レコーディング2   | (レコーディングの進み方 2)       |
| 第3回    | レコーディング3   | (レコーディング機材やマイクの種類etc) |
| 第4回    | レコーディング4   | (コンプ、EQ、リヴァーブ)        |
| 第5回    | レコーディング5   | (プラグインって?)            |
| 第6回    | レコーディング6   | (波形編集)                |
| 第7回    | レコーディング7   | (ミックス・バランスで違う歌の聞こえ方)  |
| 第8回    | 2Q末優秀作品試聴会 |                       |

学期末試験評価方法

出席状況、各自のテーマへの取り組み姿勢、最終作品の完成度等で総合評価

ヴォーカル学科

| 学期 | 科目名        | 担当講師 |
|----|------------|------|
| 秋  | レコーディング演習Ⅱ | 高松 俊 |

科目概要

秋学期からは、本レコーディングに近いかたちで、より丁寧に録っていきます。OKが出るまで何度も同じ場所を歌ったり、その場でプレイバックを聴いて判断することを体験し、レコーディングという作業に慣れていきます。

到達目標

コンプやEQ、リヴァーブなどのヴォーカル用エフェクターの用途と効果を確認したり、自分の歌に自分のコーラスを重ねたりしてレコーディングに関する基本的な知識を身につけます。

授業計画

| 3クォーター | テーマ              | 授業内容       |
|--------|------------------|------------|
| 第1回    | デモ・レコーディング1      | メイン・ヴォーカル1 |
| 第2回    | デモ・レコーディング2      | メイン・ヴォーカル2 |
| 第3回    | デモ・レコーディング3      | メイン・ヴォーカル3 |
| 第4回    | デモ・レコーディング4      | バック・コーラス1  |
| 第5回    | デモ・レコーディング5      | バック・コーラス2  |
| 第6回    | デモ・レコーディング6      | 仕上げ        |
| 第7回    | 3Q末ライブ・レコーディング試験 |            |

クォーター末試験評価方法

出席状況、各自のテーマへの取り組み姿勢、最終作品の完成度等で総合評価

| 4クォーター | テーマ         | 授業内容                |
|--------|-------------|---------------------|
| 第1回    | デモ・レコーディング1 | (自分の長所、武器となるところを探る) |
| 第2回    | デモ・レコーディング2 | (自己アピール、プレゼンテーション)  |
| 第3回    | デモ・レコーディング3 | (人に聴かせる方法)          |
| 第4回    | デモ・レコーディング4 | (Tunecoreへの登録1)     |
| 第5回    | デモ・レコーディング5 | (Tunecoreへの登録2)     |
| 第6回    | デモ・レコーディング6 | (ネット・プロモーション1)      |
| 第7回    | デモ・レコーディング7 | (ネット・プロモーション2)      |
| 第8回    | 4Q末優秀作品試聴会  |                     |

学期末試験評価方法

出席状況、各自のテーマへの取り組み姿勢、最終作品の完成度等で総合評価

ヴォーカル学科

| 学期 | 科目名               | 担当講師 |
|----|-------------------|------|
| 春  | レパトリー(R&B.JAZZ) I | 福富英明 |

科目概要

R&B.JAZZのフィーリングを代表的なシンガーの歌を徹底的に聞いて歌うことによって体感します。グルーブ、声の質感、声量にこだわっていきます。授業開始後ストレッチ、ウォーミングアップをしますが、その段階でヴォーカルエクササイズを加えていきます。キーを捕まえて声を出す等、楽しんでやっていきましょう。

到達目標

R&B JAZZを丁寧に聞き、歌うことによって歌唱技術やグルーブを身に着けることを目標にします。

授業計画

| 1クォーター | テーマ       | 授業内容   |
|--------|-----------|--|
| 第1回    | とにかく楽しもう！ | AIN'T NO MOUNTAIN HIGH ENOUGH.(MARVIN GAYE&TAMMY TERREL)1コーラス歌唱  |
| 第2回    | とにかく楽しもう！ | AIN'T NO MOUNTAIN HIGH ENOUGH.(MARVIN GAYE&TAMMY TERREL)2コーラス歌唱  |
| 第3回    | とにかく楽しもう！ | AIN'T NO MOUNTAIN HIGH ENOUGH.(MARVIN GAYE&TAMMY TERREL)フルコーラス歌唱 |
| 第4回    | とにかく楽しもう！ | AIN'T NO MOUNTAIN HIGH ENOUGH.(MARVIN GAYE&TAMMY TERREL)フルコーラス歌唱 |
| 第5回    | とにかく楽しもう！ | IT DON'T MEAN A THING歌唱  |
| 第6回    | とにかく楽しもう！ | IT DON'T MEAN A THING歌唱  |
| 第7回    | テスト       | AIN'T NO MOUNTAIN HIGH ENOUGH.(MARVIN GAYE&TAMMY TERREL)フルコーラス歌唱 |

クォーター末試験評価方法

出席30%授業態度40%テスト30% 出席、授業態度を重視します。遅刻も大きく減点します。テストにおいては歌詞を覚えてからでないと歌にならないので、まず歌詞を覚える、そしてしっかり声を出してうたうことを重視します。

| 2クォーター | テーマ       | 授業内容                                 |
|--------|-----------|--------------------------------------|
| 第1回    | 深い響きで歌おう！ | ORDINARY PEOPLE(JOHN LEGEND)1コーラス歌唱  |
| 第2回    | 深い響きで歌おう！ | ORDINARY PEOPLE(JOHN LEGEND)2コーラス歌唱  |
| 第3回    | 深い響きで歌おう！ | ORDINARY PEOPLE(JOHN LEGEND)フルコーラス歌唱 |
| 第4回    | 深い響きで歌おう！ | ORDINARY PEOPLE(JOHN LEGEND)フルコーラス歌唱 |
| 第5回    | 深い響きで歌おう！ | ORDINARY PEOPLE(JOHN LEGEND)フルコーラス歌唱 |
| 第6回    | 深い響きで歌おう！ | LULLABY OF BIRDLAND(SARAH VAUGHN)歌唱  |
| 第7回    | 深い響きで歌おう！ | LULLABY OF BIRDLAND(SARAH VAUGHN)歌唱  |
| 第8回    | テスト       | ORDINARY PEOPLE(JOHN LEGEND)フルコーラス歌唱 |

学期末試験評価方法

出席30%授業態度40%テスト30% 出席、授業態度を重視します。遅刻も大きく減点します。テストにおいては歌詞を覚えてからでないと歌にならないので、まず歌詞を覚える、そしてしっかり声を出してうたうことを重視します。フェイクも入れられるとより評価します。

ヴォーカル学科

| 学期 | 科目名                | 担当講師 |
|----|--------------------|------|
| 秋  | レパトリー(R&B.JAZZ) II | 福富英明 |

科目概要

引き続きしっかり聞いて、耳でコピーしながら歌っていきます。よりリズム、音程、声量、質感を感じるままにコントロールして歌えるように指導していきます。自由な歌、開放感、昂揚感にあふれた歌唱を目指します。授業開始後のウォーミングアップから目的を持って臨みましょう。「私が歌えば空気が変わる。」くらいの意気込みを期待しています。

到達目標

より細かいところまで聞き取れる耳を養い、歌を自由に歌えるようになることを目指します。

授業計画

| 3クォーター | テーマ          | 授業内容                  |
|--------|--------------|-----------------------|
| 第1回    | マイケル・ジャクソン！！ | ROCK WITH YOU1コーラス歌唱  |
| 第2回    | マイケル・ジャクソン！！ | ROCK WITH YOU2コーラス歌唱  |
| 第3回    | マイケル・ジャクソン！！ | ROCK WITH YOUフルコーラス歌唱 |
| 第4回    | マイケル・ジャクソン！！ | ROCK WITH YOUフルコーラス歌唱 |
| 第5回    | サマータイム       | サマータイム歌唱              |
| 第6回    | サマータイム       | サマータイム歌唱              |
| 第7回    | テスト          | ROCK WITH YOUフルコーラス歌唱 |

クォーター末試験評価方法

出席30%授業態度40%テスト30% 出席、授業態度を重視します。遅刻も大きく減点します。テストにおいては歌詞を覚えてからでないと歌にならないので、まず歌詞を覚える、そしてしっかり声を出してうたうことを重視します。今回は特にリズム、グループが気持ちよく決まれば評価します。

| 4クォーター | テーマ          | 授業内容   |
|--------|--------------|--|
| 第1回    | デュエットで盛り上がり！ | YOU ARE MY HEAVEN(DONNY HATHAWAY AND ROBERTA FLACK) 1コーラス歌唱  |
| 第2回    | デュエットで盛り上がり！ | YOU ARE MY HEAVEN(DONNY HATHAWAY AND ROBERTA FLACK) 2コーラス歌唱  |
| 第3回    | デュエットで盛り上がり！ | YOU ARE MY HEAVEN(DONNY HATHAWAY AND ROBERTA FLACK))フルコーラス歌唱 |
| 第4回    | デュエットで盛り上がり！ | YOU ARE MY HEAVEN(DONNY HATHAWAY AND ROBERTA FLACK))フルコーラス歌唱 |
| 第5回    | デュエットで盛り上がり！ | MY FUNNY VALENTINE歌唱   |
| 第6回    | スキヤットに挑戦！    | MY FUNNY VALENTINE歌唱   |
| 第7回    | スキヤットに挑戦！    | MY FUNNY VALENTINE歌唱   |
| 第8回    | テスト          | YOU ARE MY HEAVEN(DONNY HATHAWAY AND ROBERTA FLACK))フルコーラス歌唱 |

学期末試験評価方法

出席30%授業態度40%テスト30% 出席、授業態度を重視します。遅刻も大きく減点します。テストにおいては歌詞を覚えてからでないと歌にならないので、まず歌詞を覚える、そしてしっかり声を出してうたうことを重視します。最後のテストです。一年間学んだ成果を発揮してください。R&B,SOULの楽しさ、奥深さを感じ取って歌えたら評価します。

ヴォーカル学科

| 学期 | 科目名                 | 担当講師 |
|----|---------------------|------|
| 春  | レパートリー(ROCK&POPS) I | 桑村達人 |

科目概要

ポピュラー音楽の歴史を作り、動かした名曲を通してロック、ポップスの有名アーティストをピックアップ、その歌のマジックを体感します。

到達目標

楽曲のテイストを自分なりに表現出来るようになること。歌詞の内容を理解した上で、気持ちを込めてパフォーマンス出来るようになること。

授業計画

| 1クォーター | テーマ              | 授業内容  |
|--------|------------------|---|
| 第1回    | グループとコールアンドレスポンス | WHAT'S GOING ON/MARVIN GAYE 歌唱                  |
| 第2回    | グループとコールアンドレスポンス | WHAT'S GOING ON/MARVIN GAYE 歌唱                  |
| 第3回    | 80's GIRL POP    | TIME AFTER TIME/SYNDI LAUPER 歌唱                 |
| 第4回    | 80's GIRL POP    | TIME AFTER TIME/SYNDI LAUPER 歌唱                 |
| 第5回    | ROOTS OF DUET    | ALL I HAVE TO DO IS DREAM/THE EVERLY BROTHERS歌唱 |
| 第6回    | ROOTS OF DUET    | ALL I HAVE TO DO IS DREAM/THE EVERLY BROTHERS歌唱 |
| 第7回    | テスト              | 1Qで歌った曲より任意でピックアップし、歌唱                          |

クォーター末試験評価方法

出席状況、授業態度、パフォーマンスの出来

| 2クォーター | テーマ           | 授業内容  |
|--------|---------------|---|
| 第1回    | 王道LOVE SONG   | CAN'T TAKE MY EYES OFF YOU/FRANKIE VALLI 歌唱 |
| 第2回    | 王道LOVE SONG   | CAN'T TAKE MY EYES OFF YOU/FRANKIE VALLI 歌唱 |
| 第3回    | PERFECT ANGEL | LOVING YOU/MINNIE RIPERTON 歌唱               |
| 第4回    | PERFECT ANGEL | LOVING YOU/MINNIE RIPERTON 歌唱               |
| 第5回    | 3声コーラス        | NOWHERE MAN/THE BEATLES 歌唱                  |
| 第6回    | 3声コーラス        | NOWHERE MAN/THE BEATLES 歌唱                  |
| 第7回    | 2Q曲再確認        | 2Qで歌った曲をおさらい                                |
| 第8回    | テスト           | 2Qで歌った曲より任意でピックアップし、歌唱                      |

学期末試験評価方法

出席状況、授業態度、パフォーマンスの出来

ヴォーカル学科

| 学期 | 科目名                | 担当講師 |
|----|--------------------|------|
| 秋  | レパートリー(ROCK&POPS)Ⅱ | 桑村達人 |

科目概要

多くの人に愛される「歌」に触れることが必ずや自分の活動のヒント、刺激になるはずです。まっさらな心で、普段聞かない音楽にも触れ、吸収してください。

到達目標

有名曲にアプローチすることによって自分の独自性を見つけること。コーラスの楽しさも実感出来るようになること。

授業計画

| 3クォーター | テーマ               | 授業内容                                    |
|--------|-------------------|---|
| 第1回    | ROOTS OF CHARISMA | LIGHT MY FIRE/THE DOORS 歌唱              |
| 第2回    | ROOTS OF CHARISMA | LIGHT MY FIRE/THE DOORS 歌唱              |
| 第3回    | 21CENTURY DIVA    | BACK TO BLACK/AMY WINEHOUSE 歌唱          |
| 第4回    | 21CENTURY DIVA    | BACK TO BLACK/AMY WINEHOUSE 歌唱          |
| 第5回    | 混成コーラス            | CALIFORNIA DREAMIN' /THE MAMAS&PAPAS 歌唱 |
| 第6回    | 混成コーラス            | CALIFORNIA DREAMIN' /THE MAMAS&PAPAS 歌唱 |
| 第7回    | テスト               | 3Qで歌った曲より任意でピックアップし歌唱                   |

クォーター末試験評価方法

出席状況、授業態度、取り組み

| 4クォーター | テーマ              | 授業内容   |
|--------|------------------|--|
| 第1回    | 王道デュエット          | ALWAYS/ATLANTIC STAR 歌唱                      |
| 第2回    | 王道デュエット          | ALWAYS/ATLANTIC STAR 歌唱                      |
| 第3回    | バカラック            | WHAT THE WORLD NEEDS NOW/JACKIE DESHANNON 歌唱 |
| 第4回    | バカラック            | WHAT THE WORLD NEEDS NOW/JACKIE DESHANNON 歌唱 |
| 第5回    | ゴスペルテイストの3声ハーモニー | PEOPLE GET READY/THE IMPRESSIONS 歌唱          |
| 第6回    | ゴスペルテイストの3声ハーモニー | PEOPLE GET READY/THE IMPRESSIONS 歌唱          |
| 第7回    | 4Q曲再確認           | 4Qで歌った曲をおさらい                                 |
| 第8回    | テスト              | 4Qで歌った曲より任意でピックアップし歌唱                        |

学期末試験評価方法

出席状況、授業態度、パフォーマンスの出来

ヴォーカル学科

| 学期 | 科目名           | 担当講師  |
|----|---------------|-------|
| 春  | クラシックレパートリー I | 安村今日子 |

科目概要

音楽人としてヴォーカリストとして活動するうえで知っていて役に立つ・知っていて得をする西洋音楽の歴史・クラシック楽曲を学びます。実際に演奏をして学びます。歌曲で実際に演奏するのは原語です。個々で気になっているクラシック曲を授業内に持ってきていただくのも歓迎です。また授業内で扱う楽曲以外にも資料室・図書館等で一度聞いてみるのも勉強になります。

到達目標

各時代で有名な作曲家、作品の特徴、時代背景を知りこたえることができる。  
有名な楽曲を原語で歌唱することができる。

授業計画

| 1クォーター | テーマ                      | 授業内容                                   |
|--------|--------------------------|--|
| 第1回    | モノフォニー                   | 教会音楽を知ろう①/どんな発声法で歌っているのかを知ろう/昔の記譜法を知ろう |
| 第2回    | ポリフォニー                   | 教会音楽を知ろう②/カノンで歌ってみよう                   |
| 第3回    | 通奏低音                     | 通奏低音、カノン進行を知ろう<br>カノン進行でオリジナル曲を作ってみよう  |
| 第4回    | バロック期の名曲① ヘンデル           | オペラ・声楽曲を知ろう/時代背景を知ろう                   |
| 第5回    | バロック期の名曲②<br>バッハ・ヴィヴァルディ | カンタータ、管弦楽曲を知ろう/時代背景をし知ろう               |
| 第6回    | アベマリア                    | 各時代、作曲家によるアベマリアを演奏してみよう                |
| 第7回    | 日本の楽曲に触れる                | 歌舞伎を知る/勸進帳より【寄せの合方】を唱歌してみよう            |

クォーター末試験評価方法

休んだ講義の基礎内容(音取り・歌詞の読み方)のフォローは講義時間内には一切しません。  
授業内でひとりで歌って頂くこともあります。  
協調を乱していると判断された者は、失格とします。  
出席50%、平常点20%、実技試験15%、筆記試験15%

| 2クォーター | テーマ                 | 授業内容   |
|--------|---------------------|--|
| 第1回    | 古典派の作曲家 モーツァルト①     | 宗教曲(Ave Verum Corpus(ラテン語)を歌ってみよう                                |
| 第2回    | 古典派の作曲家 モーツァルト②     | 弦楽合奏曲(アイネ・クライネ・ナハトムジーク)<br>弦楽四重奏曲(ディヴェルティメント K. 136)を聴こう         |
| 第3回    | 古典派の作曲家 モーツァルト③     | モーツァルトの作曲したオペラを知り、うち一つの有名なアリアを覚えよう                               |
| 第4回    | 古典派の作曲家 ハイドン・ベートーベン | オーケストラと演奏される管弦楽曲を知ろう/形式(構成)を知ろう                                  |
| 第5回    | 古典派の作曲家 ベートーベン      | ベートーベン 交響曲第5番を指揮してみよう<br>交響曲第9番合唱付き を歌ってみよう                      |
| 第6回    | ロマン派の作曲家 シューベルト     | ドイツリートを知ろう(通作歌曲と有節歌曲形式)<br>Heidenröslein・An die Musik 他原語で歌ってみよう |
| 第7回    | 春学期の復習              | 春学期で学んだ曲の中から任意の1曲を選び復習しよう  |
| 第8回    | 筆記試験および実技試験         | 春学期で学んだ作曲家の名前、国、時代背景を答える<br>春学期で学んだ曲の中から任意の1曲を選び演奏               |

学期末試験評価方法

休んだ講義の基礎内容(音取り・歌詞の読み方)のフォローは講義時間内には一切しません。  
授業内でひとりで歌って頂くこともあります。  
協調を乱していると判断された者は、失格とします。  
出席50%、平常点20%、実技試験15%、筆記試験15%



ヴォーカル学科

| 学期 | 科目名          | 担当講師  |
|----|--------------|-------|
| 秋  | クラシックレパートリーⅡ | 安村今日子 |

科目概要

音楽人としてヴォーカリストとして活動するうえで知っていて役に立つ・知っていて得をする西洋音楽の歴史・クラシック楽曲を学びます。実際に演奏をして学びます。歌曲で実際に演奏するのは原語です。個々で気になっているクラシック曲を授業内に持ってきていただくのも歓迎です。また授業内で扱った楽曲以外にも資料室・図書館等で一度聞いてみるのも勉強になります。

到達目標

3クォーターでは、4クォーターでは、ガラコンサートを目指しオペラのアリア・重唱曲を中心に歌っていきます。オペラ作品なので、作品や曲にあった衣装や演技なども取り入れていきます。

授業計画

| 3クォーター | テーマ              | 授業内容   |
|--------|------------------|--|
| 第1回    | 前期ロマン派 ショパン      | ピアノを知ろう/民族的なリズムを知ろう                                      |
| 第2回    | 前期ロマン派 メンデルスゾーン  | ヴァイオリンを知ろう/協奏曲を知ろう                                       |
| 第3回    | 後期ロマン派 チャイコフスキー  | バレエ音楽 白鳥の湖を知ろう。<br>クラシックバレエの成り立ちを知ろう                     |
| 第4回    | 後期ロマン派 ムソルグスキー   | 展覧会の絵を聴いて、楽曲に当てはまる絵画を探そう<br>国民楽派の他の作品を知ろう(スメタナ・ドヴォルザーク等) |
| 第5回    | ロマン派と近代音楽 サンサーンス | 作風の違いを考えよう<br>動物の謝肉祭を聴いて、動物名を考えよう                        |
| 第6回    | 印象主義 ドビュッシー・ラヴェル | 作風の違いを考えよう/全音音階、5音音階等特徴的な技法を知ろう ポレロをバレエで見よう              |
| 第7回    | 日本での西洋音楽の始まり     | 中田章・滝廉太郎・山田耕筰等の邦人作曲家を取り上げ、レパートリーを増やそう                    |

クォーター末試験評価方法

授業内の積極的な発言を重視します。  
協調を乱していると判断された者は、失格とします。  
出席50%、平常点20%、実技試験15%、筆記試験15%

| 4クォーター | テーマ                               | 授業内容   |
|--------|-----------------------------------|--|
| 第1回    | オペラを体験してみよう<br>資料室に行き任意の譜面/音資料を探す | オペラの名アリアを聴き、インターネットや資料室を利用し、自分で調査・発表しよう                |
| 第2回    | オペラを体験してみよう<br>資料室に行き任意の譜面/音資料を探す | オペラの名アリアを聴き、インターネットや資料室を利用し、自分で調査・発表しよう                |
| 第3回    | オペラを体験してみよう<br>資料室に行き任意の譜面/音資料を探す | オペラの名アリアを聴き、インターネットや資料室を利用し、自分で調査・発表しよう                |
| 第4回    | オペラを体験してみよう                       | 調査した楽曲を演奏してみよう   |
| 第5回    | オペラを体験してみよう                       | 調査した楽曲を演奏してみよう   |
| 第6回    | オペラを体験してみよう                       | 調査した楽曲を演奏してみよう   |
| 第7回    | オペラを体験してみよう                       | 調査した楽曲を演奏してみよう   |
| 第8回    | ガラコンサート                           | 4クォーターで取り扱った独唱・重唱/アンサンブル・合唱から選んで2つ以上に参加演奏する オペラの上演(一部) |

学期末試験評価方法

休んだ講義の基礎内容(音取り・歌詞の読み方)のフォローは講義時間内には一切しません。  
授業内でひとりで歌って頂くこともあります。  
協調を乱していると判断された者は、失格とします。  
出席50%、平常点20%、実技試験15%、筆記試験15%

ヴォーカル学科

| 学期 | 科目名              | 担当講師 |
|----|------------------|------|
| 春  | レポートリー(ミュージカル) I | 岡崎亮子 |

| 科目概要  |
|---|
| ミュージカルは歌うことの楽しさ、踊ることの快感など、多くの喜びを感じ、人々に寄り添う人間的な芸術です。春学期では、自然な発声、鮮明な言葉、歌唱力をアップさせるためのテクニック、これら全て舞台に立つために必要な実践力が付く様に指導致します。       |
| 到達目標  |
| ミュージカルは特別なものではなく、想像力や洞察力、色々貪欲に知識を吸収する事が、声の表現や、内容の表現につながって行くので、春学期は、歌うと言う事や、表現する事に臆病にならず、一生懸命努力をし、楽しんで新しい可能性を見出してください。大変嬉しいです。 |

| 1クォーター | テーマ               | 授業内容  |
|--------|-------------------|---|
| 第1回    | はじめに「ミュージカルとは」～   | 日常生活での、自分の体を思いだしてもらい、笑う、泣く、あくび、などを実践して身体で感じてもらいます。      |
| 第2回    | 歌に必要な身体基礎訓練を学びます。 | 表情筋、滑舌、腹筋、背筋など身体の意識を高め、又ハミングなどで、骨伝導での響きを感じてもらいます。       |
| 第3回    | 歌ってみましょう。「オリバー」より | 「自分の立場を見直そう」6/8のリズムに乗って、リズム感よく、言葉の楽しさも意識して、歌います。        |
| 第4回    | 「塔の上のラ・プンツェル」より   | 「輝く未来」お互いの掛け合いと、無理のない、明るい音色で、気持ちを合わせて、言葉を大切に歌います。       |
| 第5回    | ラブソング～「プロミス・プロミス」 | 「もう恋なんてしない」男女の心の動きを声に乗せ、お互いの気持ちを歌詞に乗せて歌うには、どうするか？を学びます。 |
| 第6回    | 試験曲として今まで学んだ曲から   | 中間試験で歌う曲を決め、その選んだ理由聞き、一人ずつ声と言葉のチェックと、歌い込みをいたします。        |
| 第7回    | 第一クォーター末実技の試験の実施  | 学習した声の出し方、身体の使い方、作品の内容の理解を含め、ミュージカルとして成立しているか？を見ます。     |

クォーター末試験評価方法  
 出席点 30% 平常点 30% 試験 40% ミュージカルに興味を持ってもらえたか？楽曲をしつかり理解し、表現力や言葉の大切さを実感しながら、積極的に前向きに取り組んだかを評価致します。平常点は、授業中の前向きな態度と、教えられたことへの理解力を重視いたします。

| 2クォーター | テーマ                | 授業内容  |
|--------|--------------------|---|
| 第1回    | 日本のオペレッタを歌ってみよう。   | 「ハッピーバースディ」二重唱を楽しく歌います。ここでは、言葉の大切さと、レガートの歌い方を学びます。              |
| 第2回    | ディズニー作品「美女と野獣」より   | 「Beauty And The Beast」二重唱をつられないで歌います。又有名な曲なので、音程やリズムに気をつけて歌います。 |
| 第3回    | ディズニー作品「リトル・マーメイド」 | 「アンダー・ザ・シー」シンコペーションや物語の楽しさが伝わるよう～少し音を外して、会話風に歌って見ます。            |
| 第4回    | ディズニー作品「アラジン」より    | 「A Whole And World」掛け合いの楽しさを分かってもらい、チームワークとして確立するように歌います。       |
| 第5回    | 「アニーよ銃を取れ」より       | 「朝に太陽」古いコミカルなミュージカルです。伴奏に全てガイドが入っているので、音程やリズムに注意します。            |
| 第6回    | 人気漫画からミュージカル「アニー」  | 「ハード・ノック・ライフ」明るく活発な表現が必要となります。そして音域も広いので、身体を使った声を出します。          |
| 第7回    | 指定した試験曲のまとめとチェック   | 決められた課題曲を、今まで習ってきたテクニックを実践して、自分なりの表現で、歌い込み致します。                 |
| 第8回    | 第二クォーター末実技の試験の実施   | 課題曲を歌ってもらい、試験として何を、どこをポイントとして見て、聞いてもらいたいのか？を一人ずつ説明してもらいます。      |

学期末試験評価方法  
 出席点 30% 平常点 30% 試験 40% ミュージカルに興味を持ってもらえたか？楽曲をしつかり理解し、表現力や言葉の大切さを実感しながら、積極的に前向きに取り組んだかを評価致します。平常点は、授業中の前向きな態度と、教えられたことへの理解力を重視いたします。

ヴォーカル学科

| 学期 | 科目名             | 担当講師 |
|----|-----------------|------|
| 秋  | レポートリー(ミュージカル)Ⅱ | 岡崎亮子 |

| 科目概要   |
|--|
| ミュージカルほど幅が広く、奥が深くて多くの方に楽しんで頂けるものではありません。それはミュージカルには音楽、演劇、舞踊とあらゆる要素が詰まっているからです。第三クォーターではミュージカル作品の抜粋版を、第四クォーターでは1955年代～1999年代のミュージカルを学びます。 |
| 到達目標   |
| 秋学期はかなりレベルが高くなっています。春学期で学んだ「身体の使い方」をマスターした上で、歌、セリフ、踊りと色々入り、コミュニケーションが重要になっております。お互いに意見を出し合って、色々冒険をしながら、それぞれが持ち歌となる曲を見つけて頂ければ幸いです。        |

| 授業計画  |                    |  |
|---|--------------------|--|
| 3クォーター  | テーマ                | 授業内容   |
| 第1回   | サウンド・オブ・ミュージックより   | ミュージカルの抜粋版を作るにあたり、資料を読んだり、DVDを見たりして、しっかり作品を勉強いたします。      |
| 第2回   | サウンド・オブ・ミュージックより   | ミュージカルの曲と曲の間の、セリフを入れてみましょう。台詞は口先だけではなく、心から話すようにします。      |
| 第3回   | サウンド・オブ・ミュージックより   | 自分がやりたい役を見つめます。そして、その役の人物像を研究して、本当にやりたい役か？しっかり考えます。      |
| 第4回   | サウンド・オブ・ミュージックより   | 役が決まったら、グループを作り、コミュニケーションをとりながら、音楽稽古や読み合わせをいたします。        |
| 第5回   | サウンド・オブ・ミュージックより   | 皆んなで意見を出し合い、ステージングを考え、相談しながら動きなどをつけて、作品として仕上げていきます。      |
| 第6回   | サウンド・オブ・ミュージックより   | 台本や譜面を外し、動きなどの確認をしてから、試験に向けて、グループごとに音付きリハーサルをいたします。      |
| 第7回   | 第三クォーター末実技の試験の実施   | グループごとの発表なので、コミュニケーションが一番大事です。家族愛の作品なので、温かみも大事な評価です。     |
| クォーター末試験評価方法  |                    |  |
| 出席 30% 平常点 30% 試験 40% 歌はストレートに心に入ってきます。ミュージカルは文学を構成していかなくてはなりません。又音楽とダンスが入ることによって、エンターティメント性が高まり、今回の作品は面白いと感じて積極的に取り組めたかななどを評価致します。 |                    |  |
| 4クォーター  | テーマ                | 授業内容   |
| 第1回   | 1955年代「マイ・フェア・レディ」 | 「時間通りに教会へ」楽しく、明るく、ハッピーな曲ですので、身体全体で、リズムをとり～歩きながら歌います。     |
| 第2回   | 1987年代「レ・ミゼラブル」より  | ソロの名曲に触れましょう。オペラ仕立てのナンバーなので、難しいと思いますが、しっかり声を出し表現します。     |
| 第3回   | 1987年代「レ・ミゼラブル」より  | ソロの曲の歌い込みをします。細かい表現などを確認しながら、身体の支えや、呼吸法をしっかり学びます。        |
| 第4回   | 1997年代「ジキルとハイド」より  | 「ありのままの」二重唱を勉強いたします。ドラマ性のあるこの曲をどう伝えたら良いかを研究いたします。        |
| 第5回   | 1997年代「ジキルとハイド」より  | 「その目に」二重唱、お互いに愛する人への気持ちを感情豊かに歌うにはどうしたら良いか？考えてもらいます。      |
| 第6回   | 1999年代「マンマ・ミーア」より  | 「音楽をありがとう」アバの明るく楽しい曲です。アバの独特な世界観を感じながら、日本だけ許された日本語で歌います。 |
| 第7回   | 1999年代「マンマ・ミーア」より  | 「ダンシング・クイーン」同じくアバのノリノリの曲で、シンコーションやタイのリズムに乗って楽しく歌ってもらいます。 |
| 第8回   | 第四クォーター末実技の試験の実施   | 授業で歌った曲から、一曲選択して自分なりに自由に歌ってもらいます。歌には正解も不正解もありません。楽しく！    |
| 学期末試験評価方法   |                    |  |
| 出席 30% 平常点 30% 試験 40% アンサンブルやソロが複雑になってきてます。それぞれの楽曲の特徴をきちんと掴み、楽しい、面白いと感じ、積極的に表現出来たかを総合的に判断いたします。平常点は授業中の前向きな態度と教えられたことへの理解力を重視致します。  |                    |  |

ヴォーカル学科

| 学期 | 科目名                 | 担当講師 |
|----|---------------------|------|
| 春  | レパートリー(キャラクターソング) I | 沼田梨花 |

| 科目概要   |
|--|
| 現在の音楽業界で需要が高い、アニメソングやキャラクターソングを課題曲として授業を進める。基礎を鍛える。<br>様々な音楽ジャンルの特徴を理解する |
| 到達目標   |
| アニメソングやキャラクターソング特有のメロディー、歌い方にチャレンジしフルコーラス歌いきれるようになる                      |

| 授業計画   |                  |                                     |
|--|------------------|-------------------------------------|
| 1クォーター   | テーマ              | 授業内容                                |
| 第1回  | ガイダンスと基礎練習       | 授業内容の説明、インタビュー 課題曲設定                |
| 第2回  | 課題曲 前半           | 基礎練習 課題曲1コーラス目を進める                  |
| 第3回  | 課題曲 後半           | 基礎練習 課題曲2コーラスを進める                   |
| 第4回  | 課題曲 全体           | 基礎練習 フルコーラス歌唱                       |
| 第5回  | フレージングのコピー       | 基礎練習 課題曲の歌い方、フレージングを真似て、曲のクオリティを上げる |
| 第6回  | フレージングのコピーとリハーサル | 課題曲の歌い方、フレージングを真似て、曲のクオリティを上げる 曲を通す |
| 第7回  | 試験               | 課題曲歌唱テスト                            |
| クォーター末試験評価方法                                     |                  |                                     |
| 出席状況や授業に取り組む姿勢、授業内容の理解度、実際の完成度、テストの内容を総合的に見て評価する |                  |                                     |
| 2クォーター   | テーマ              | 授業内容                                |
| 第1回  | 滑舌について           | 基礎練習 滑舌トレーニング 課題曲設定                 |
| 第2回  | 課題曲 前半           | 基礎練習 滑舌トレーニング 課題曲1コーラス目を進める         |
| 第3回  | 課題曲 後半           | 基礎練習 滑舌トレーニング 課題曲2コーラス目を進める         |
| 第4回  | 課題曲 全体           | 基礎練習 滑舌トレーニング フルコーラス歌唱              |
| 第5回  | フレージングのコピー       | 基礎練習 課題曲の歌い方、フレージングを真似て、曲のクオリティを上げる |
| 第6回  | フレージングのコピー       | 課題曲の歌い方、フレージングを真似て、曲のクオリティを上げる 曲を通す |
| 第7回  | 試験前のリハーサル        | 試験同様の形で曲を歌唱                         |
| 第8回  | 試験               | 課題曲歌唱テスト                            |
| 学期末試験評価方法  |                  |                                     |
| 出席状況や授業に取り組む姿勢、授業内容の理解度、実際の完成度、テストの内容を総合的に見て評価する |                  |                                     |

ヴォーカル学科

| 学期 | 科目名                | 担当講師 |
|----|--------------------|------|
| 秋  | レパートリー(キャラクターソング)Ⅱ | 沼田梨花 |

| 科目概要   |
|--|
| 難易度が高い曲にチャレンジ それと同時に基礎力アップを目指す<br>春学期に学んだ事を定着させ、歌唱を安定させる |
| 到達目標   |
| ハイテンポ、ハイトーンの曲をパフォーマンスと共に歌えるようにする                         |

| 授業計画   |                    |  |
|--|--------------------|--|
| 3クォーター   | テーマ                | 授業内容                                       |
| 第1回  | 復習                 | 春学期の曲を復習 課題曲設定                             |
| 第2回  | テクニックを高める          | 様々なテクニックの紹介 チャレンジ                          |
| 第3回  | 課題曲 前半             | 基礎練習 テクニックの練習 フレーズをコピーしながら 課題曲1コーラス目を進める   |
| 第4回  | 課題曲 後半             | 基礎練習 テクニックの練習 フレーズをコピーしながら 課題曲2コーラス目を進める   |
| 第5回  | 課題曲 全体             | 基礎練習 テクニックの練習 フレーズをコピーしながら 課題曲2コーラス目以降を進める |
| 第6回  | リハーサル              | 試験同様の形で曲を歌唱                                |
| 第7回  | 試験                 | 課題曲歌唱テスト                                   |
| クォーター末試験評価方法                                     |                    |  |
| 出席状況や授業に取り組む姿勢、授業内容の理解度、実際の完成度、テストの内容を総合的に見て評価する |                    |  |
| 4クォーター   | テーマ                | 授業内容                                       |
| 第1回  | 復習                 | 第1クォーターの曲を復習 課題曲設定                         |
| 第2回  | リズムトレーニング          | 基礎練習 リズトレと共に難易度の高い早口言葉の練習<br>課題曲を進める       |
| 第3回  | 課題曲 前半             | 基礎練習 テクニックの練習 フレーズをコピーしながら 課題曲1コーラス目を進める   |
| 第4回  | 課題曲 後半             | 基礎練習 テクニックの練習 フレーズをコピーしながら 課題曲2コーラス目を進める   |
| 第5回  | 課題曲 全体             | 基礎練習 テクニックの練習 フレーズをコピーしながら 課題曲2コーラス目以降を進める |
| 第6回  | フレージングのコピーやテクニック確認 | テストに向け細部をチェック                              |
| 第7回  | リハーサル              | 試験同様の形で曲を歌唱                                |
| 第8回  | 試験                 | 課題曲歌唱テスト                                   |
| 学期末試験評価方法  |                    |  |
| 出席状況や授業に取り組む姿勢、授業内容の理解度、実際の完成度、テストの内容を総合的に見て評価する |                    |  |

## ヴォーカル学科

| 学期 | 科目名               | 担当講師 |
|----|-------------------|------|
| 春  | ヴォーカルユニットアンサンブル I | 藤原美穂 |

### 科目概要

実践的なテクニックを、あらゆる方面から見つめ、習得して行きます。春学期はまず、口・あご・舌・のどの使い方、自分の今まで歌っていた声以外あらゆる種類の声をコントロールできるようにします。身体全体のしくみについても、学び、呼吸を合わせる大切さも学びます。コールユーブンゲン(譜面を読み、歌う)、調音、スケール練習を毎回やって行きます。卒業までに、身につけるべき、最低限の音感、礼儀、常識を、実質的に学びます。

### 到達目標

Key=Cの課題曲のコーラス譜面を理解する。進行を正確に書く。コールユーブンゲンで読譜に慣れ始め、インターバルを身につける。

### 授業計画

| 1クォーター | テーマ        | 授業内容                  |
|--------|------------|-----------------------|
| 第1回    | オリエンテーリング  | 自己紹介・アンケートへの書き込み・質疑応答 |
| 第2回    | 一人ずつ歌唱     | 音域確認 パートの希望           |
| 第3回    | 課題曲1のパート分け | 第1課題曲を視聴し、パートを確認      |
| 第4回    | コーラスにおける呼吸 | 身体のしくみを理解、声と息のバランス    |
| 第5回    | コーラスにおける発声 | ブレンドをよくするための発声習得      |
| 第6回    | 全員で仕上げ     | 他パート聴いて自分のバランスをとる     |
| 第7回    | 課題曲・ハノン1歌唱 | 実技試験                  |

### クォーター末試験評価方法

まずは、かんたんな1曲を全員で、最低限、音程のみ仕上げます。毎回、何が不足しているかを考え、コーラスにおける大切な個の役割を学びます。チームワークありきなため、出席率が第一です。ハノン1番をオクターブ歌唱。インターバルの認識度をチェック。これ以後毎期、ハノン歌唱。

| 2クォーター | テーマ      | 授業内容                   |
|--------|----------|------------------------|
| 第1回    | 実技試験の反省  | 一人ずつ反省と次への課題を確認しあう     |
| 第2回    | 課題曲2の決定  | 聴音、和声聞き分け正確に発声 移動ドについて |
| 第3回    | コーラス譜に着手 | コーラス譜を書くための知識 音符カード    |
| 第4回    | コーラス譜    | リズムの書き方、伝達手段としての楽譜の認識  |
| 第5回    | 夏休み前の心構え | オーディションを受けるにあたってなど     |
| 第6回    | ステージング   | 立ち方、マイクスタンドの使い方        |
| 第7回    | 歌唱スタイル   | 他メンバーを観察チェック           |
| 第8回    | 課題曲発表    | 全チーム、発表、譜面提出           |

### 学期末試験評価方法

1クォーターとは違う、テンポが少し速めの曲で、子音や呼吸を合わせることを、どこまで理解できるか。オケとの兼ね合いで、大切なアタックや音を切るタイミングを、合わせる力が備わるかを評価します。また、8分音符までの簡単な課題曲で、コーラス譜を完成して提出させます。また期末実技試験対策も兼ねて、各自の歌唱を、皆で批評しあう事もします。

ヴォーカル学科

| 学期 | 科目名              | 担当講師 |
|----|------------------|------|
| 秋  | ヴォーカルユニットアンサンブルⅡ | 藤原美穂 |

科目概要

コーラスにおける声の使い方、身体の使い方を、さらに学んでゆきます。3声和音、字ハモ以外にどんなバリエーションがあるか、学びます。楽曲の中でのコーラスの役割に興味を深く持ち始めてもらえるようにします。コールユーブンゲンを進めて行くのに加え、聴音、スケール練習も毎回やります。オリジナルコーラスアレンジをして、実演した動画を作成し、クラウドにアップするところまでを最後の試験とします。

到達目標

自身でコーラスアレンジができるようになる。移動ドでハーモニーを捉える。

授業計画

| 3クォーター | テーマ      | 授業内容                         |
|--------|----------|------------------------------|
| 第1回    | 12音階について | 12音階をピアノで弾いてみる 3和音聴音 スケールを認識 |
| 第2回    | 5度圏      | Circle of keysを完全に理解         |
| 第3回    | 呼吸、発声    | いろんなリズムの合わせての身体の使い方          |
| 第4回    | 譜面の重要性   | バンド譜面の情報・コーラスの情報について         |
| 第5回    | 移調       | 移調の仕方                        |
| 第6回    | ステージング   | マイクスタンドの扱い・スタンドでの動き・譜面台の位置確認 |
| 第7回    | 発表       | 課題曲の発表                       |

クォーター末試験評価方法

合唱とは違う、POPSの現場における、あらゆるテクニックを理解してもらえますようにします。また、英語の歌詞を交えての課題曲を与え、発音もていねいに憶えて行きます。ステージで表現する自覚を養います。作品を、1作以上、動画撮影(新入生勧誘DVD用)

| 4クォーター | テーマ     | 授業内容                    |
|--------|---------|-------------------------|
| 第1回    | 実技試験の反省 | 実技試験について語り、オーディション対策    |
| 第2回    | 最後の課題決定 | オリジナル曲について考察、プラン        |
| 第3回    | 聴き取り    | 聴き取って、譜面を起こす、録音する       |
| 第4回    | アレンジ    | 各自アレンジ、メンバーを決定し、伝え方を決める |
| 第5回    | アレンジ    | 時間内に、メンバーに指示            |
| 第6回    | 課題曲練習   | 各自助け合い、よりよく仕上げる         |
| 第7回    | 課題曲練習   | 各自助け合い、歌唱、お互いを批評する      |
| 第8回    | 発表      | 作り上げた自分の作品をプレゼン         |

学期末試験評価方法

1年を通して、実践的な力が養われているかを評価します。他メンバーをよく聴いて自分の役割を認識できるかも評価します。あくまでもソロでの歌唱とは違うことを、徹底的に学びます。オリジナル曲、もしくはコーラスなし既存曲をアレンジ実演し、自分の資料作りを最後の課題とします。他人にアプローチできる動画とプロフィールをクラウドにアップするところまでを卒業試験とする。

ヴォーカル学科

| 学期 | 科目名         | 担当講師 |
|----|-------------|------|
| 春  | バンドアンサンブル I | 坂本 洋 |

科目概要

自分の歌をより素晴らしく聞かせるために必要なバンドアンサンブルまたはアレンジを学びます。歌いたい曲の譜面、音源持参してください、オリジナルも可です。楽器や弾語りができる人も(やりたい人も)大歓迎!!是非楽しんでやってみましょう。

到達目標

一般的な構成、ギター、ベース、ドラム、キーボード(4リズム)にどのように適切な指示が出来るかが大切なポイントになってきます。

授業計画

| 1クォーター | テーマ             | 授業内容   |
|--------|-----------------|--|
| 第1回    | 1Q課題曲の選択、チームの結成 | 3~4名でチームを結成します。このクォーターで歌う曲をチーム毎に決め、DATAで提出用意します。 |
| 第2回    | 課題曲アレンジ打合せ      | 実際にバンドメンバーとどのように演奏するか打合せます。曲の構成やエンディングなども打合せます。  |
| 第3回    | リハーサル 1         | 音源、譜面が整ったチームからリハーサルを開始します。                       |
| 第4回    | リハーサル 2         | 各チーム2回づつのリハーサルができます。歌うパートやコーラスパート等決めていきます。       |
| 第5回    | リハーサル 3         | 歌詞を覚えていきましょう。鏡を見ながらのステージングも始まります。                |
| 第6回    | リハーサル 4         | 総仕上げです。ステージング、表現等最高にしてください。                      |
| 第7回    | 中間試験            | 1Qの課題曲をバンドで歌います。                                 |

クォーター末試験評価方法

素点50% 平常点50% 欠席点 1回2点(公認・病欠を除く)

| 2クォーター | テーマ              | 授業内容   |
|--------|------------------|--|
| 第1回    | 2Q課題曲の選択、チームの再結成 | このクォーターで歌う曲をチーム毎に決め、DATAで提出用意します。                |
| 第2回    | 課題曲アレンジ打合せ       | 実際にバンドメンバーとどのように演奏するか打合せます。曲の構成やエンディングなども打合せます。  |
| 第3回    | リハーサル 1          | 音源、譜面が整ったチームからリハーサルを開始します。コード譜、マスターリズムの説明等も行います。 |
| 第4回    | リハーサル 2          | 音源、譜面が整ったチームからリハーサルを開始します。                       |
| 第5回    | リハーサル 3          | 各チーム2回づつのリハーサルができます。歌うパートやコーラスパート等決めていきます。       |
| 第6回    | リハーサル 4          | 歌詞を覚えていきましょう。鏡を見ながらのステージングも始まります。                |
| 第7回    | リハーサル 5          | 総仕上げです。ステージング、表現等最高にしてください。                      |
| 第8回    | 期末試験             | 2Qの課題曲をバンドで歌います。                                 |

学期末試験評価方法

素点50% 平常点50% 欠席点 1回3点(公認・病欠を除く)



ヴォーカル学科

| 学期 | 科目名        | 担当講師 |
|----|------------|------|
| 秋  | バンドアンサンブルⅡ | 坂本 洋 |

科目概要

自分の歌をより素晴らしく聞かせるために必要なバンドアンサンブルまたはアレンジを学びます。歌いたい曲の譜面、音源持参してください、オリジナルも可です。楽器や弾語りができる人も(やりたい人も)大歓迎!!是非楽しんでやってみましょう。

到達目標

一般的な構成、ギター、ベース、ドラム、キーボード(4リズム)にどのように適切な指示が出来るかが大切なポイントになってきます。

授業計画

| 3クォーター | テーマ             | 授業内容   |
|--------|-----------------|--|
| 第1回    | 1Q課題曲の選択、チームの結成 | 3~4名でチームを結成します。このクォーターで歌う曲をチーム毎に決め、DATAで提出用意します。 |
| 第2回    | 課題曲アレンジ打合せ      | 実際にバンドメンバーとどのように演奏するか打合せます。曲の構成やエンディングなども打合せます。  |
| 第3回    | リハーサル 1         | 音源、譜面が整ったチームからリハーサルを開始します。                       |
| 第4回    | リハーサル 2         | 各チーム2回ずつのリハーサルができます。歌うパートやコーラスパート等決めていきます。       |
| 第5回    | リハーサル 3         | 歌詞を覚えていきましょう。鏡を見ながらのステージングも始まります。                |
| 第6回    | リハーサル 4         | 総仕上げです。ステージング、表現等最高にしてください。                      |
| 第7回    | 中間試験            | 1Qの課題曲をバンドで歌います。                                 |

クォーター末試験評価方法

素点50% 平常点50% 欠席点 1回2点(公認・病欠を除く)

| 4クォーター | テーマ              | 授業内容  |
|--------|------------------|---|
| 第1回    | 2Q課題曲の選択、チームの再結成 | このクォーターで歌う曲をチーム毎に決め、DATAで提出用意します。               |
| 第2回    | 課題曲アレンジ打合せ       | 実際にバンドメンバーとどのように演奏するか打合せます。曲の構成やエンディングなども打合せます。 |
| 第3回    | リハーサル 1          | 音源、譜面が整ったチームからリハーサルを開始します。                      |
| 第4回    | リハーサル 2          | 音源、譜面が整ったチームからリハーサルを開始します。                      |
| 第5回    | リハーサル 3          | 各チーム2回ずつのリハーサルができます。歌うパートやコーラスパート等決めていきます。      |
| 第6回    | リハーサル 4          | 歌詞を覚えていきましょう。鏡を見ながらのステージングも始まります。               |
| 第7回    | リハーサル 5          | 総仕上げです。ステージング、表現等最高にしてください                      |
| 第8回    | 期末試験             | 2Qの課題曲をバンドで歌います。                                |

学期末試験評価方法

素点50% 平常点50% 欠席点 1回3点(公認・病欠を除く)

ヴォーカル学科

| 学期 | 科目名               | 担当講師     |
|----|-------------------|----------|
| 春  | グループ & ダンスヴォーカル I | mickey-T |

科目概要

グループを身体で捉え体現する事で、ダンスの基盤を作ると同時に音楽の基礎である”小節”の感覚を身につける。身体をつくりを知り動きを理解しパフォーマンスに役立てる。様々なタイプの振りを学ぶ。

到達目標

音楽に携わるうえで最低限知っておかなければならない”裏と表”の感覚を確実なものとし、ブレずに継続して乗っていけるようになる。身体を動かしながらでも体幹を崩すことなく声を出すことに馴れる。

授業計画

| 1クォーター | テーマ                      | 授業内容   |
|--------|--------------------------|--|
| 第1回    | ヴォーカリストの為の筋トレ&ストレッチ      | 先ずは歌い手に必要な腹式呼吸を助けてくれる筋肉の簡単なトレーニングの方法をご紹介します。実際にやってみましょう。 |
| 第2回    | 表に対する裏の感覚とdown & upの関係性1 | 基礎トレーニング～ストレッチ。音楽を聴きながら表と裏に乗って。歩いたり走ったりしてみます。            |
| 第3回    | 表に対する裏の感覚とdown & upの関係性2 | 基礎トレーニング～ストレッチ。ダンスで習うアップとダウンの仕組みを知り、裏と表に関連付けます。          |
| 第4回    | 身体や筋肉の動きとグループの仕組み        | 基礎トレーニング～ストレッチ。少し運動に馴れてきたところで知識として詳しく説明、試験範囲を確認します。      |
| 第5回    | ステップライン & フリーステップ1       | 基礎トレーニング～ストレッチ。最初にやった表と裏を思い出し、さらに自由なステップを混ぜていきます。        |
| 第6回    | ステップライン & フリーステップ2       | 基礎トレーニング～ストレッチ。一列になって一人ずつ自由なステップを考え、皆で真似ていきます。           |
| 第7回    | 試験                       | 基礎トレーニング～ストレッチ。第四回で勉強したことからの出題。筆記試験です。                   |

クォーター末試験評価方法

筆記試験になります。100点満点からの減点法で行います。

| 2クォーター | テーマ                    | 授業内容   |
|--------|------------------------|--|
| 第1回    | 第1クォーターのおさらい。テスト返却。    | 基礎トレーニング～ストレッチ。裏とアップ、表とダウン、グループとステップを確認します。                |
| 第2回    | リミック1呼吸のリズム            | 基礎トレーニング～ストレッチ。呼吸にもグループがあり、イコール歌のリズムとの関係性を紐解いていきます。        |
| 第3回    | リミック2言葉のリズム            | 基礎トレーニング～ストレッチ。呼吸のリズムが何となく解ったら、言葉のリズムと音を学びます。              |
| 第4回    | リミック3身体のリズム            | 基礎トレーニング～ストレッチ。身体と呼吸と言葉をリンクさせ、全身でグループを表現していきます。            |
| 第5回    | jump, bounce, and turn | 基礎トレーニング～ストレッチ。更にダンスにつながるよう、ジャンプ、バウンス、回転等を学びます。            |
| 第6回    | 振り写し                   | 基礎トレーニング～ストレッチ。試験に向けて、短い曲の振り写しに入ります。                       |
| 第7回    | フォーメーションワーク            | 基礎トレーニング～ストレッチ。振り写しの終わった曲を使い少人数のチームに分かれフォーメーションワークに取り組みます。 |
| 第8回    | 試験                     | 基礎トレーニング～ストレッチ。最終確認と練習。チーム毎に作品を見せてもらいます。                   |

学期末試験評価方法

作品としてのクォリティー、グループとしての協調性、センス等を採点します。40点満点からの減点法で行います。その他の配点は出席率20点、平常点20点、提出物20点となります。

ヴォーカル学科

| 学期 | 科目名              | 担当講師     |
|----|------------------|----------|
| 秋  | グループ & ダンスヴォーカルⅡ | mickey-T |

科目概要

ダンサーのように踊れなくとも基本のグルーブとリズムを体現できればステージの上で困りません。単純に好きな曲で乗れるということに近付けていきます。

到達目標

春学期に学んだ事を活かし更なるスキルアップと作品作りを目指します。身体も慣れてきているはずなので、もっともっと自由に動き、協力し合って表現してみましよう。

授業計画

|     | テーマ              | 授業内容   |
|-----|------------------|--|
| 第1回 | 春学期のおさらい         | 基礎トレーニング～ストレッチ。リトミックやステップライン等、一通りおさらいをします。                 |
| 第2回 | 背筋の重要性とレーニング     | 基礎トレーニング～ストレッチ。背筋をつかえれば歌うことをはじめとしたあらゆる動きは楽になると知りましょう。      |
| 第3回 | ラララ腕立てと首立て伏せ     | 基礎トレーニング～ストレッチ。背筋を簡単に使う方法で本来の声を知り、立位でもそこを目指します。            |
| 第4回 | 首立て伏せとぐにやぐにやパキーン | 基礎トレーニング～ストレッチ。筋肉の弛緩と緊張を活かし、体幹を鍛え、パフォーマンスに繋げていきます。         |
| 第5回 | リトミック4ボディパーカッション | 基礎トレーニング～ストレッチ。身体全部を使い、リズムを捉えます。手足をバラバラに動かして色々なグルーブに挑戦します。 |
| 第6回 | リトミック5ボディパーカッション | 基礎トレーニング～ストレッチ。手足をバラバラに動かしながら声も同時に出してみます。                  |
| 第7回 | 試験               | 基礎トレーニング～ストレッチ。リズムとグルーブを体現しながら歌います。                        |

クォーター末試験評価方法

間違えずに出来る様になるまで練習は足りているか、きちんとリズムにはまっているかを見せてもらい、100点満点からの減点法で行います。

| 4クォーター | テーマ          | 授業内容   |
|--------|--------------|--|
| 第1回    | 第3クォーターのおさらい | 基礎トレーニング～ストレッチ。これまで学んできたことを少しずつ取り入れ動ける身体に慣れていきます。          |
| 第2回    | ステップリーディング1  | 基礎トレーニング～ストレッチ。リーダーを真似てステップや動きのボキャブラリーを増やしていきます。           |
| 第3回    | ステップリーディング2  | 基礎トレーニング～ストレッチ。ステップや乗り方の種類を色々見つける。実際に踊ってみます。               |
| 第4回    | 課題曲振り写し1     | 基礎トレーニング～ストレッチ。既存の課題曲を使って振付を覚えていきます。まずは前半部分をざっくり出来るまでやります。 |
| 第5回    | 課題曲振り写し2     | 基礎トレーニング～ストレッチ。引き続き既存の課題曲の振り写し。後半部分を重点的に繰り返します。            |
| 第6回    | フォーメーションワーク1 | 基礎トレーニング～ストレッチ。チーム分けをしてそれぞれにリーダー、サブリーダー、ダンサー、シンガーを決めます。    |
| 第7回    | フォーメーションワーク2 | 基礎トレーニング～ストレッチ。協力し合いフォーメーションを工夫し、作品を完成させます。                |
| 第8回    | 試験           | 基礎トレーニング～ストレッチ。チーム毎に作品を発表してもらいます。                          |

学期末試験評価方法

実技60点満点からの減点法で行います。作品のクオリティー、チームワーク、群舞の美しさ等を審査します。その他平常点、出席率共に各20点です。

## ヴォーカル学科

| 学期 | 科目名           | 担当講師  |
|----|---------------|-------|
| 春  | シンガーソングライター I | 小池 道昭 |

### 科目概要

ヴォーカリストは声という武器を持っています。鼻歌でもコードがつけば立派な曲になる事を体感し、「出来ない」という気持ちを取り除いて行きましょう。また、もしメロディーが作れなくても歌詞の書き方を覚えていくうちに不思議とメロディーも作れたりするものです。まずは考えすぎずにトライしてみましょう。同時に、少しずつでもいいので楽器に触れていく事で、頭ではなく体で音楽を覚えて行きましょう。

### 到達目標

今まで知らなかった知識をしっかりと身につける為には、受け身ではなく主体的に挑んで行く気持ちが大事です。曲作りの作業の中で自分が主導で何かを作り上げていくことを学んでいきます。

### 授業計画

| 1クォーター | テーマ          | 授業内容  |
|--------|--------------|---|
| 第1回    | ガイダンス        | 授業内容を説明し自己紹介をもらった上で、個々の経験や何に興味を持っているかを把握します。                |
| 第2回    | 楽曲完成までの流れ    | 作詞・作曲・編曲・録音等、楽曲が完成していくまでの流れを解説します。                          |
| 第3回    | ダイアトニックコード   | 世に出ている曲のほとんどはダイアトニックコード中心で出来ていることを説明し、その重要性を理解していきます。       |
| 第4回    | ノンダイアトニックコード | ノンダイアトニックコードの種類や使い方を知り、個性的な曲作りにつながるノンダイアトニックコードについて学んでいきます。 |
| 第5回    | 王道のコード進行     | カノン進行や枯葉進行など代表的なコード進行を覚えて曲作りの参考にしていきます。                     |
| 第6回    | 鼻歌           | ただの鼻歌でもコードが付くとちゃんとした曲になる事を実感してもらい、作曲のハードルを下げていきます。          |
| 第7回    | テスト(作品提出)    | それぞれの出来る範囲で歌詞とメロディーを作り、提出します。                               |

### クォーター末試験評価方法

出席30% 平常点30% 試験40%  
出席及び取り組む姿勢を重視します。

| 2クォーター | テーマ        | 授業内容  |
|--------|------------|---|
| 第1回    | 耳コピ 1      | 耳で曲のコードを取れるようになると、その曲のエッセンスを把握しやすくなり、個性のある曲作りにつながっていきます。    |
| 第2回    | 耳コピ 2      | 実際に好きな曲を持ち寄って、耳コピの仕方を覚えていきます。                               |
| 第3回    | コードの付け方    | 基本的なコードの付け方を学び、作ったメロディーにコードを付けてみます。                         |
| 第4回    | 四和音の簡単な弾き方 | 四和音を左手でルート、右手でトライアドの形で覚え、実際演奏しながら覚えていきます                    |
| 第5回    | テンションノート   | テンションノートの意味や使い方を説明し、テンションによってかなり雰囲気が変わり、独特の世界観を作れることを実感します。 |
| 第6回    | 歌詞について     | 心が動いた瞬間をしっかりと記録する習慣をつける、それが作詞の第一歩です。                        |
| 第7回    | 弾き語り       | オリジナル、コピーを問わずに弾き語りにトライします。弾き語りでも自分のものに出来ると曲作りにも良い効果が表れてきます。 |
| 第8回    | テスト(歌唱)    | 今までの成果を出来るだけ弾き語りで歌唱、発表します。                                  |

### 学期末試験評価方法

出席30% 平常点30% 試験40%  
出席及び取り組む姿勢を重視します。

ヴォーカル学科

| 学期 | 科目名          | 担当講師  |
|----|--------------|-------|
| 秋  | シンガーソングライターⅡ | 小池 道昭 |

科目概要

譜面が苦手だと言うヴォーカリストはかなり多いと思います。ただ、譜面の読み方や書き方が分かってくると作曲力の向上や歌のリズムetc.、いろんな点でプラスの面が表れます。少し面倒でももっと譜面に触れるようにしましょう。それとともに、いろんな音楽に触れて、自分のオリジナリティーを見つけ磨いて行きましょう。

到達目標

音楽を作り上げていく作業は、楽しい部分もありますが、想像以上に根気が必要な作業でもあります。しっかりと最後まで作り上げる力を身につけて行って欲しいです。

授業計画

| 3クォーター | テーマ          | 授業内容  |
|--------|--------------|---|
| 第1回    | A、B、サビの役割    | 感情が集約するサビ、A,Bメロの特徴を理解します。                                     |
| 第2回    | ジャンルによる違い    | ジャンルによってコードやリズムの違いがあることをしっかり理解し、その違いを把握します。                   |
| 第3回    | スケールについて     | チャーチモード、ペンタニックetc. いろいろなスケールを覚えて、個性的なメロディーにつなげていきます。          |
| 第4回    | ジャズ&ブルース     | 歴史、コード進行、ブルーノートなどを通じてジャズやブルースの特徴を知り、独特のフィーリングを表現できるようにしていきます。 |
| 第5回    | 譜面の書き方       | メロディー譜の書き方を覚え、歌のリズムを理解して歌うことの大切さを学びます。                        |
| 第6回    | 譜面制作         | 譜面を書いてみて分かることもたくさんあります。オリジナル曲又はコピー曲の譜面制作にトライします。              |
| 第7回    | テスト(歌唱&譜面提出) | メロディー譜を書いて提出します。  |

クォーター末試験評価方法

出席30% 平常点30% 試験40%  
出席及び取り組む姿勢、そろそろ成果も重視します。

| 4クォーター | テーマ          | 授業内容   |
|--------|--------------|--|
| 第1回    | 楽器 1 (リズム楽器) | 編曲の基本となるベースとドラムについて解説し、リズム楽器への理解を深めます。       |
| 第2回    | 楽器 2 (コード楽器) | コード感を表現するギターとキーボードについて解説し、コード楽器への理解を深めます。    |
| 第3回    | 楽曲制作 1       | 各自のオリジナル曲制作に取りかかります。                         |
| 第4回    | 楽曲制作 2       | オリジナル曲作りを進めながら、バンド伴奏の為のマスターリズム譜の書き方を覚えます。    |
| 第5回    | 楽曲制作 3       | 曲作りの仕上げ、マスターリズム譜を完成させます。ミスがないか最終確認もしっかりやります。 |
| 第6回    | バンド・ヴォーカル    | バンドで歌う際に注意すべき事を指導し、次回のリハーサルにつなげて行きます。        |
| 第7回    | リハーサル        | 試験に向けてリハーサルを行いながら、アレンジを固めて行きます。              |
| 第8回    | テスト(バンド)     | オリジナル曲をバンド伴奏にて歌唱します。                         |

学期末試験評価方法

出席30% 平常点30% 試験40%  
出席及び取り組む姿勢、そろそろ成果も重視します。

ヴォーカル学科

| 学期 | 科目名       | 担当講師 |
|----|-----------|------|
| 春  | ピアノ弾き語り I | 高島みほ |

科目概要

ピアノ弾き語りの基礎から学んでいきます。ピアノ初心者には難しく感じるかもしれませんが、パターンを覚えると、あとは、その応用だけです。基礎練習とレベルを合わせた応用をしていきます。うまくなるコツはとにかくたくさんの曲を弾いてみることに歌の伴奏をしてみる事です。自分のレベルに合わせて目標を決めましょう。

到達目標

音楽の基礎であるセオリーを頭に入れた上で、コードの成り立ちを理解します。初心者～経験者までレベルはさまざまですが、基礎をしっかり固める事で、のちの応用がきくようになります。一人ずつチェックし、セオリーとコードを理解するのが目標です。

授業計画

| 1クォーター | テーマ                       | 授業内容   |
|--------|---------------------------|--|
| 第1回    | 弾き語りの基礎となる音楽のセオリーを確認      | 実際にピアノに触れ、音を目で確かめ、基礎となるセオリーを確認します。一人ずつチェックします。         |
| 第2回    | 基本形と転回形の違いを実際に弾いてみる       | 弾き語り、伴奏必要なコードの転回形を練習し、4つのコードを転回形で演奏してみます。              |
| 第3回    | 歌の伴奏にチャレンジしてみて、さらに転回形も使う  | 誰かに歌ってもらい、転回形でピアノを弾いて伴奏をします。簡単な曲で確認し、一人ずつ発表します。        |
| 第4回    | ベースラインを工夫してビートを刻んでみよう     | ベースラインの動かし方とそれに合わせた右手の動かし方を練習します。ビート感を出して一人ずつ発表します。    |
| 第5回    | アルペジオにチャレンジし、曲を豊かにしよう     | アルペジオの基礎の手の動かし方を練習し、応用パターンにつなげます。曲がより豊かになっていくのを感じましょう。 |
| 第6回    | 試験曲の練習と中間発表で自分の課題を確認しよう   | 1クォーターの復習を兼ねて、転回形、アルペジオ、ベースラインの工夫を全て盛り込んだ演奏練習をします。     |
| 第7回    | 6回目の練習の成果を発表しこれからの課題を考えよう | 課題曲のピアノの弾き語りをします。一人ずつ前に出て発表し、本番の緊張感も感じましょう。            |

クォーター末試験評価方法

1クォーターで基礎となるものを全て学んできました。授業で学んだセオリー、コードの基本形、転回形、ベースライン、アルペジオなどを理解し、課題曲に取り入れる事が出来ていたかを見ます。個人差はありますが、しっかり練習をしたかが大事です。試験30%出席・授業態度70%

| 2クォーター | テーマ                               | 授業内容   |
|--------|-----------------------------------|--|
| 第1回    | ファルインとは何か。ファルインが入る事で曲にどういう変化があるか  | ファルインを説明後、実際に曲を聞き理解します。ファルインを入れる場所を学び、何パターンか作ってみましょう。          |
| 第2回    | メジャーキーでの伴奏と、移調の練習                 | メジャーキーの循環コードでの伴奏と移調の練習をし、エニキーを目指し、いろんなキーで伴奏にチャレンジしましょう。        |
| 第3回    | マイナーキーでの伴奏と、移調の練習                 | メジャーとマイナーの伴奏の違いを感じ、五線紙に必ず書いて移調していきましょう。                        |
| 第4回    | 原曲から移調し、自分であったキーで演奏しよう            | 課題曲を自分のキーにし、まず譜面づくりをします。出来たら練習開始し、一人ずつチェックしていきます。              |
| 第5回    | オンコードのしくみ、良さを知り曲に深みをもたせてみよう       | オンコードのしくみをまず理解し、譜面を読めるようになったら実際の曲で練習してみましょう。                   |
| 第6回    | テンションコードの良さ、カッコよさを知り、曲をより豊かにしていこう | 弾き語りです使うコードに色どりを加えていきます。Add9,sus4,dim,フラット,シャープ5th,9thの練習をします。 |
| 第7回    | 課題曲の練習を開始し、工夫するところを決めて中間発表をしてみよう  | 2クォーターの復習をしながら、一人ずつ中間発表します。グランドピアノで弾いてみて音の厚みを感じてみましょう。         |
| 第8回    | 7回目の練習をいかし、2クォーターのまとめとして演奏してみよう   | 2クォーターでは色々なテクニックを学びました。練習の成果を出し、みんなの前で堂々と発表しましょう。              |

学期末試験評価方法

授業で学んだ内容を理解し、課題曲に取り入れる事が出来ているか、ファルイン・7th・9th・Add9,sus4,dim,を全て理解しているかを見ます。簡単ではありませんが、熱心に取り組めば取り組むほどに上達します。弾けるようになると自分で音楽を作り出す感覚がついていきます。試験30%出席・授業態度70%

ヴォーカル学科

| 学期 | 科目名      | 担当講師 |
|----|----------|------|
| 秋  | ピアノ弾き語りⅡ | 高島みほ |

科目概要

ピアノ弾き語りの基礎を復習しつつ、さらに内容を深く身につけていきます。第3クォーターは自由曲を決めて、一曲をきちんと弾き語りできるように各自仕上げていきます。第4クォーターは元の曲からのアレンジの歌と伴奏を交互に担当し人の歌を聴きながら伴奏もチャレンジしていきます。

到達目標

難しいことにチャレンジし、出来た時の喜びや音色の美しさを実感しましょう。練習段階では楽しいものではないかもしれませんが、目標を高く持ち、日々ピアノに向き合えると確実に力がついてきます。個人個人目標を決め、そこにたどり着けるようになりましょう。

授業計画

| 3クォーター | テーマ                            | 授業内容   |
|--------|--------------------------------|--|
| 第1回    | 自分の音域を理解しキーの認識を高める             | 各自、音域確認をし自分に合ったキーをみつけ、移調し決めた曲で歌う。また譜面も合わせて作ります。                |
| 第2回    | 自分が日頃歌ってるキーが合っているのかをもう一度確かめよう  | 自由に曲を持ちより、選曲したら、いろんなキーで歌ってみましょう。ピアノを弾きながら歌うと、また自分のに合うキーが違ってきます |
| 第3回    | コード譜を書き、伴奏者に理解してもらおう           | 伴奏者に渡す譜面をしっかり書けるようになるためのトレーニングをします。リピートや調号、強弱に落ち度がないように。       |
| 第4回    | ピアノ弾き語りの際、強弱のポイントを決めて演奏しよう     | p.f・クレッシェンド・デクレッシェンドをつけ、曲にストーリーを持たせ演奏してみよう。必ず譜面にそれぞれ書き込みましょう。  |
| 第5回    | ダイナミクスをつけて、曲を作り豊かに美しくしていこう     | 4回目です。やった強弱・クレッシェンド・デクレッシェンドを、さらに繊細にしていく作業を行い、一人ずつ発表します。       |
| 第6回    | 自由曲を決め、中間発表し、アドバイスを聞こう         | ダイナミクスを付けた演奏を一人ずつ発表し、聞いている人からアドバイスをもらい、次回のテストの参考にしましょう。        |
| 第7回    | 3クォーターのまとめです、いろんな表現をつけて発表しましょう | 自由曲にダイナミクスを付け、ピアノを弾き、歌います。一人ずつ前に出て発表し、練習の成果を出しましょう。            |

クォーター末試験評価方法

歌とピアノのダイナミクスがバラバラにならないように注意しましょう。授業で学んだ内容を理解し、曲に取り入れることができているか、自分で曲全体の構成を考え、まとめられているかどうかを見ます。ピアノは日頃の練習が大切です。授業の時だけの練習にならないようにしましょう。試験50%出席50%

| 4クォーター | テーマ                            | 授業内容  |
|--------|--------------------------------|---|
| 第1回    | 選曲した曲に移調し、ピアノ弾き語り用にアレンジしよう     | コードにテンションを付け、繊細さを持たせ、ダイナミクスを譜面に書き込み、さらに自分のキーに移調して演奏しましょう。     |
| 第2回    | 二人組で歌の伴奏をし合い、歌う方が譜面を書こう        | 曲のイメージをピアノで表現してみましょう。また歌う人が書いた譜面が見やすいか、さらにちゃんと演奏できるかを確認しましょう。 |
| 第3回    | 二人組の相手を変えて歌の伴奏をし合い、譜面のチェックをしよう | 歌う方がどういう表現をしたのかを確実に伴奏者に伝える必要があります。譜面もしっかり書けるようにしましょう。         |
| 第4回    | もう一度相手を変えて歌の伴奏をし合い譜面のチェックをしよう  | 歌い方の意図をくみ取り譜面の作成をします。またイントロとエンディングを作って作品にしましょう。               |
| 第5回    | 三拍子系の刻み方とその工夫をし練習しよう           | まず三拍子系の曲を聞き、アクセントやフィルがどこに入っているかを把握し、実際に練習してみましょう。             |
| 第6回    | ビートの違いをピアノで表現しテクニックを身につけよう     | 4ビート・8ビート・16ビート・スウィングの違いを感じ、それに合ったピアノを弾けるように練習しましょう。          |
| 第7回    | わからないところがない様に、この時間で解決させよう      | コード・テンション・ダイナミクス・ビートに弾き方、また譜面を書く上での不明な点を全てクリアにしましょう。          |
| 第8回    | 課題曲を決め、一人ずつ発表しよう               | 表現したいことをはっきりさせた上で一人ずつ前に出て発表しましょう。                             |

学期末試験評価方法

1年を通して勉強してきたことを全てふまえ、発表出来ていたかを見ます。基本形・転回形・7th・難しいアイションコード・オンコード・ダイナミクス・イントロ・フィルイン・エンディング・ビート感を出し、しっかりと「作品」に仕上がっているか、またたくさん練習したかを見ます。試験40%出席60%

ヴォーカル学科

| 学期 | 科目名       | 担当講師  |
|----|-----------|-------|
| 春  | ギター弾き語り I | 吉岡 靖高 |

科目概要

ヴォーカリストとしてギターを弾きながら、ソロまたは少人数のアンサンブルで歌う事を前提としたギタープレイやテクニクについて初歩から学ぶ初心者対象のクラスです。基本的なフォームからコードストローク、フィンガーピッキングというテクニクなどを学び、ライブなどステージで弾き語りができるようになることを目標とします。

到達目標

春学期では、まずギターに慣れる。そしてコードフォームを覚えてコードチェンジを迫るようになることを目標とします。

授業計画

| 1クォーター | テーマ             | 授業内容   |
|--------|-----------------|--|
| 第1回    | 基礎知識とチューニング     | 演奏の基本姿勢やチューニングの仕方、押弦方法、弦の種類、ピックの種類などの知識を学びます。    |
| 第2回    | コードとストローク       | オープンコードの押え方とストロークの基本フォームを学びながら8ビートの曲を演奏します。      |
| 第3回    | コードとストローク       | オープンコードの押え方とストロークの基本フォームを学びながら8ビートの曲を演奏します。      |
| 第4回    | コードとストローク、アルペジオ | オープンコードの押え方とストロークの基本フォームを確認しながら、アルペジオが入る曲を演奏します。 |
| 第5回    | コードとストローク、アルペジオ | オープンコードの押え方とストロークの基本フォームを学びながら8ビートの曲を演奏します。      |
| 第6回    | 復習              | このクォーターで学習した楽曲すべてを復習します。                         |
| 第7回    | クォーター末試験        | 課題曲を自分で1曲選んで弾き語りをします。                            |

クォーター末試験評価方法

出席率30% 達成度30% 試験(実技)40% どのくらい上達したか、頑張ったかを重要視します。日常ギターに触れる時間を多く持つことが大切です。

| 2クォーター | テーマ       | 授業内容   |
|--------|-----------|--|
| 第1回    | バレーコード    | バレーコードの押さえ方を学びます。バレーコードがある曲を演奏します。                 |
| 第2回    | バレーコード    | バレーコードの押さえ方を学びます。バレーコードがある曲を演奏します。                 |
| 第3回    | バレーコード    | バレーコードに慣れるようにして行きます。バレーコードがあり、コードチェンジが少し早い曲を演奏します。 |
| 第4回    | バレーコード    | バレーコードに慣れるようにして行きます。バレーコードがあり、コードチェンジが少し早い曲を演奏します。 |
| 第5回    | メンテナンス、知識 | 夏休み前にギターの手入れの方法、弦交換等の方法を学びます。実際に弦の交換や調整の実習をします。    |
| 第6回    | リズム、グルーヴ  | 楽曲の歌に合わせたグルーヴをストロークで作ることを学びます。                     |
| 第7回    | 復習        | 春学期で学習した楽曲すべてを復習します。                               |
| 第8回    | 期末試験      | 課題曲を自分で1曲選んで弾き語りをします。                              |

学期末試験評価方法

出席率30% 達成度30% 試験40%、クォーター末(中間)評価を総合して評価します。どのくらい上達したか、頑張ったかを重要視します。日常ギターに触れる時間を多く持つことが大切です。



ヴォーカル学科

| 学期 | 科目名      | 担当講師  |
|----|----------|-------|
| 秋  | ギター弾き語りⅡ | 吉岡 靖高 |

| 科目概要   |
|--|
| <p>ヴォーカリストとしてギターを弾きながら、ソロまたは少人数のアンサンブルで歌う事を前提としたギタープレイやテクニックについて初歩から学ぶ初心者対象のクラスです。基本的なフォームからコードストローク、フィンガーピッキングというテクニックなどを学び、ライブなどステージで弾き語りができるようになることを目標とします。</p> |
| 到達目標   |
| <p>秋学期では、いろいろなコードやリズム、演奏方法を覚えて自分の弾き語り演奏に生かせることができるようになることを目標とします。</p>  |

| 授業計画   |             |  |
|--|-------------|--|
| 3クォーター   | テーマ         | 授業内容   |
| 第1回  | フィンガースタイル   | フィンガースタイルの弾き方について学習します。                            |
| 第2回  | フィンガースタイル   | フィンガースタイルのコードの楽曲を演奏します。                            |
| 第3回  | ハイブリッドピッキング | ピックと指を両方使って弾く方法を学習します。                             |
| 第4回  | ボサノバ        | ボサノバのリズムやテンションコードを弾き方について学習します。                    |
| 第5回  | ボサノバ        | フィンガーピッキングでボサノバの曲を演奏します。                           |
| 第6回  | 復習          | このクォーターで学習した楽曲すべてを復習します。                           |
| 第7回  | クォーター末試験    | 課題曲を自分で1曲選んで弾き語りをします。                              |
| クォーター末試験評価方法   |             |  |
| <p>出席率30% 達成度30% 試験(実技)40% どのくらい上達したか、頑張ったかを重要視します。日常ギターに触れる時間を多く持つことが大切です。</p>                    |             |  |
| 4クォーター   | テーマ         | 授業内容   |
| 第1回  | レパートリーを増やす  | よりコードチェンジが多い楽曲をその曲に合わせた弾き方を選んで演奏します。様々な曲を経験していきます。 |
| 第2回  | レパートリーを増やす  | よりコードチェンジが多い楽曲をその曲に合わせた弾き方を選んで演奏します。様々な曲を経験していきます。 |
| 第3回  | レパートリーを増やす  | よりコードチェンジが多い楽曲をその曲に合わせた弾き方を選んで演奏します。様々な曲を経験していきます。 |
| 第4回  | レパートリーを増やす  | よりコードチェンジが多い楽曲をその曲に合わせた弾き方を選んで演奏します。様々な曲を経験していきます。 |
| 第5回  | レパートリーを増やす  | よりコードチェンジが多い楽曲をその曲に合わせた弾き方を選んで演奏します。様々な曲を経験していきます。 |
| 第6回  | レパートリーを増やす  | よりコードチェンジが多い楽曲をその曲に合わせた弾き方を選んで演奏します。様々な曲を経験していきます。 |
| 第7回  | 復習          | 秋学期で学習した楽曲すべてを復習します。                               |
| 第8回  | 期末試験        | 課題曲を自分で1曲選んで弾き語りをします。                              |
| 学期末試験評価方法  |             |  |
| <p>出席率30% 達成度30% 試験40%、クォーター末(中間)評価を総合して評価します。どのくらい上達したか、頑張ったかを重要視します。日常ギターに触れる時間を多く持つことが大切です。</p> |             |  |

ヴォーカル学科

| 学期 | 科目名            | 担当講師  |
|----|----------------|-------|
| 春  | コンピュータミュージック I | 滝口 北斗 |

科目概要

現在の音楽制作に欠かすことの出来ない、DTM/DAWのシステムを用いた楽曲制作の方法を学びます。

自身では演奏出来ない楽器をMIDIデータとして作成する方法を身につけ、オリジナル楽曲のクオリティアップに役立てられるように、必要最低限のオペレーション能力の習得を目指します。

到達目標

DTM/DAWソフトウェアの基本的な仕組みとオペレーション方法の習と基本的な楽器のデータ入力の理解を目標にします。

楽器の奏法や特徴などの知識を学習し、様々なミュージシャンとのコミュニケーション能力を身につけます。

授業計画

| 1クォーター | テーマ              | 授業内容   |
|--------|------------------|--|
| 第1回    | ガイダンスとデモンストレーション | コンピュータを使用した音楽制作の現状をデモンストレーションを交えて解説します。      |
| 第2回    | 基本操作①            | 楽曲の制作テンプレート配布とアプリケーションの起動・終了とデータの保存方法を解説します。 |
| 第3回    | 基本操作②            | アプリケーションの構成とVSTインストゥルメントの使用法(音色の選択)を解説します。   |
| 第4回    | 基本操作③            | 制作を始める段階での各種設定とウィンドウのレイアウトを解説します。            |
| 第5回    | キーエディター          | キーエディターの基本概念とキーボードを使ったデータ入力の方法を解説します。        |
| 第6回    | 実践①              | 各自が用意した譜面を用いて、キーエディターへのデータ入力を実践します。          |
| 第7回    | 実践②              | キーエディターに入力したデータの修正やエディット方法を解説します。            |

クォーター末試験評価方法

70%は出欠席と受講態度の平常点を重視した評価。  
30%は実践したデータの提出による学習内容の理解度を見ます。

| 2クォーター | テーマ          | 授業内容   |
|--------|--------------|--|
| 第1回    | ドラムエディター①    | ドラムエディターの基本概念とキーボードを使ったデータ入力の方法を解説します。       |
| 第2回    | ドラムエディター②    | 様々なジャンルによって異なるドラムパターンの構築方法を学習します。            |
| 第3回    | 実践③          | 各自が用意した譜面を用いて、ドラムエディターへのデータ入力を実践します。         |
| 第4回    | データ入力のまとめ①   | ステップインプットとリアルタイムインプットの使い分けについてを解説します。        |
| 第5回    | データ入力のまとめ②   | 打ち込み操作が円滑に進むための方法とショートカットキーの使い方を解説します。       |
| 第6回    | 実践④          | 各自制作中の楽曲のデータを入力と音色変更による楽曲イメージの変化を解説します。      |
| 第7回    | 実践⑤          | 各自制作中の楽曲のデータを入力とミックスバランスによる楽曲の聴こえ方の変化を解説します。 |
| 第8回    | 制作した楽曲データの提出 | 制作したデータをオーディオファイルに書き出す方法を解説します。              |

学期末試験評価方法

60%は出欠席と受講態度の平常点を重視した評価。  
40%は制作したデータの提出による学習内容の理解度を見ます。

ヴォーカル学科

| 学期 | 科目名             | 担当講師  |
|----|-----------------|-------|
| 秋  | コンピュータミュージック II | 滝口 北斗 |

科目概要

春学期に学習した内容を踏まえて、後期はオリジナル作品のデータ制作を行います。簡単なオーディオレコーディングやミックスなどにも触れ、実際の楽曲制作現場の流れを体感出来るようにしていきます。

到達目標

最終形のアレンジをアレンジジャーに託す事も視野に入れた、より完成形に近いイメージの構築と、自分の意図が伝えやすいトラック制作方法の理解。自身で制作が完結できるようなDAWの活用方法を知る。

授業計画

| 3クォーター | テーマ         | 授業内容  |
|--------|-------------|---|
| 第1回    | プランニング①     | オリジナル作品の方向性を決めるリファレンス楽曲のアナライズと構成譜の作成。           |
| 第2回    | ジャンル別のアプローチ | 制作するジャンルによって異なる使用する音色やリズムパターン、楽曲構成の解説をします。      |
| 第3回    | プリプロダクション①  | コードトラックを用いた構成譜コードの入力方法とコード構成音の確認。               |
| 第4回    | プリプロダクション②  | Groove Agent SEを使ったテンプレートからのリズムパターンの構築方法を解説します。 |
| 第5回    | プリプロダクション③  | スマートフォンを使用したガイドヴォーカルの録音方法とDAWへの取り込み方法を解説します。    |
| 第6回    | 実践①         | プランニングに基づいたプリプロダクションの実践。                        |
| 第7回    | 実践②         | ラフミックスの作成と現状確認。                                 |

クォーター末試験評価方法

70%は出欠席と受講態度の平常点を重視した評価。  
30%はデータの提出による作品の制作プロセス及び現状を見ます。

| 4クォーター | テーマ          | 授業内容                                   |
|--------|--------------|--|
| 第1回    | プランニング②      | プリプロダクションから完成形への方向修正と確認をします。           |
| 第2回    | 実践③          | プランニング・修正に基づいたデータ作成の実践。                |
| 第3回    | 実践④          | 最終的な使用音色やリズムパターンの確定。                   |
| 第4回    | ミックス講座①      | 楽曲の方向を決めるミキシングとコンソールウィンドウについての解説をします。  |
| 第5回    | ミックス講座②      | イコライザーやリバーブなどの基本的エフェクターの接続と使用方法を解説します。 |
| 第6回    | ミックス講座③      | 楽曲の雰囲気を決めるエフェクターの活用方法を解説します。           |
| 第7回    | 実践⑤          | 各自制作状況に応じた最終形へのデータトリートメントの方法を解説します。    |
| 第8回    | 制作した楽曲データの提出 | 制作したデータをオーディオファイルに書き出して提出。             |

学期末試験評価方法

60%は出欠席と受講態度の平常点を重視した評価。  
40%は提出した楽曲の完成度を見ます。

ヴォーカル学科

| 学期 | 科目名        | 担当講師 |
|----|------------|------|
| 春  | プレゼンテーションⅡ | 高松 俊 |

科目概要

ヴォーカリストにとって自己表現は非常に重要です。多くの人に自分の伝えたいことをアピールする訓練として一人ずつプレゼンテーションを行っていきます。さらに、ミュージック・ビジネスの仕組みや内容を理解し、プロの世界の現状を把握して個性とテクニック、プロモーション戦略の必要性等々、ビジネスとしての音楽の定義を掘り下げて考えていきます。

到達目標

自分の考えを明確に人に伝えるということが確実にできるようにする。現状を把握して時分の立ち位置や目標を客観的に判断できる能力を身につける。

授業計画

| 1クォーター | テーマ     | 授業内容                  |
|--------|---------|-----------------------|
| 第1回    | 授業概要説明  | アーティストとしての自己表現        |
| 第2回    | 自己表現実習1 | 人に伝えたいことを効果的にプレゼンしていく |
| 第3回    | 自己表現実習2 | 人に伝えたいことを効果的にプレゼンしていく |
| 第4回    | 自己表現実習3 | 人に伝えたいことを効果的にプレゼンしていく |
| 第5回    | 自己表現実習4 | 人に伝えたいことを効果的にプレゼンしていく |
| 第6回    | 自己表現実習5 | 人に伝えたいことを効果的にプレゼンしていく |
| 第7回    | 試験      | 小論文形式                 |

クォーター末試験評価方法

出席点40% 平常点40% 試験20%  
日々の出席と前向きに取り組む姿勢を評価します。

| 2クォーター | テーマ        | 授業内容                   |
|--------|------------|------------------------|
| 第1回    | プロの音楽ビジネス1 | 音楽業界の現状                |
| 第2回    | プロの音楽ビジネス2 | セルフプロデュースの必要性          |
| 第3回    | プロの音楽ビジネス3 | 音楽出版社、マネージメント、権利関係基礎知識 |
| 第4回    | プロの音楽ビジネス4 | 配信、コピー、mobile環境、流通革命   |
| 第5回    | プロの音楽ビジネス5 | 混乱期である音楽業界の現状と未来の展望    |
| 第6回    | 現状と将来      | オーディションいろいろ            |
| 第7回    | 総括         | 社会人への準備、基本マナー、人間関係etc. |
| 第8回    | 試験         | 小論文形式                  |

学期末試験評価方法

出席点40% 平常点40% 試験20%  
日々の出席と前向きに取り組む姿勢を評価します。